

# こども発達センター一年報

(平成28年度版)



豊橋市こども発達センター

# 目 次

## I 豊橋市こども発達センターの概要

|          |   |
|----------|---|
| 1 設置目的など | 1 |
| 2 建物の概要  | 2 |
| 3 事業の概要  | 2 |
| 4 職員体制   | 3 |

## II 各部門の事業概要

### 第1 相談部門

|   |    |
|---|----|
| 1 電話相談                                  | 4  |
| (1)～(7)電話相談件数、性別、年齢、居住地域、相談内容、紹介経路、対応状況 |    |
| 2 面接相談                                  | 9  |
| (1)～(7)面接相談件数、性別、年齢、居住地域、相談内容、紹介経路、対応状況 |    |
| 3 障害児等療育支援事業                            | 13 |
| (1)在宅支援訪問療育等支援事業 (2)施設支援一般指導事業          |    |

### 第2 医療部門

|  |    |
|--|----|
| 1 診療業務   | 17 |
| (1)～(7)小児科、児童精神科、整形外科、耳鼻いんこう科、歯科、心理検査・心理面接、その他 |    |
| 2 リハビリテーション業務                                  | 25 |
| (1)理学療法 (2)作業療法 (3)言語聴覚療法                      |    |

### 第3 通園事業部門

|   |    |
|---|----|
| 1 外来グループ療育事業                                    | 33 |
| (1)～(7)目的、定員、基本理念、運営方針、療育計画、保護者支援、活動実績など        |    |
| 2 重症心身障害児通園事業(児童発達支援事業)                         | 38 |
| (1)～(7)目的、定員、基本理念、運営方針、療育計画、家庭訪問療育「ゆりっこ」、活動実績など |    |
| 3 重症心身障害児(者)日中一時支援事業                            | 44 |
| (1)～(6)目的、定員、利用日時・時間、基本理念、一日の過ごし方、活動実績など        |    |

## III 資料編

|              |    |
|--------------|----|
| 1 会議等        | 49 |
| 2 条例等抜粋      | 50 |
| 3 建物の平面図・案内図 | 51 |

※ 件数や回数等の記載:年月日が示されていないものは、平成28年度中の実績数字

※ 表中の年度の表記:H28→平成28年度

# I 豊橋市こども発達センターの概要

## 1 設置目的など

豊橋市こども発達センターは、心身に障害のある児童及びその疑いのある児童の地域における療育体制の充実及び福祉の向上を図り、子どもの成長発達を支援する療育システムの拠点となる施設として、平成22年4月1日に設置された。

障害の早期発見・早期療育、障害児のいる家庭への支援、療育関係機関等との連携、地域における療育の技術力向上を施設のコンセプトとしている。

子どもの発達について、保護者から相談を受け、子どもの育ちを支えるためにできることを保護者とともに考え、組み立てる、相談と支援のための場所を目指している。誰もが住み慣れた地域で、心豊かに安心した生活を送ることができるよう、保健所・保健センターとも連携しながら、専門スタッフを配置し、相談、医療、通園事業などの各種サービスを提供している。

### 【施設整備の経緯・主な出来事】

|        |   |
|--------|---|
| 平成12年度 | 第4次基本計画において、地域療育センター(仮称)の建設を位置づけ  |
| 14年度   | 豊橋市PFI基本方針の中で、モデル事業候補として位置づけ  |
| 15年度   | 市民懇談会から意見書提言を受ける、10月:市民病院に児童外来開設  |
| 16年度   | 整備推進会議の設置、PFI可能性調査の実施(委託)   |
| 17年度   | 中野町国立病院解体工事、市民懇談会での検討、3月:基本計画の策定  |
| 18年度   | 4月:18・19年度のアドバイザー契約、9月:中野町用地取得(市公社)<br>10月:審査委員会設置、12月:実施方針等、1月:特定事業の選定 |
| 19年度   | 8月:入札、10月:落札者決定、12月:事業契約締結→基本設計着手                                       |
| 20年度   | 5月:実施設計着手・中野町用地取得(市)、12月:工事着手   |
| 21年度   | 8月:愛称「ほいっぷ」に、1月:施設引渡し、2・3月:開設準備   |
| 22年度   | 4月:供用開始・保険医療機関届、8月:寄附受領(WICとよはし)  |
| 23年度   | 6月:みんなの福祉機器展in豊橋、3月:第96回療育談話会   |
| 24年度   | 11月:寄附受領(国際ソフチミスト豊橋ホート)、一月早いクリスマスケーキ作り慰問                                |
| 25年度   | 5月:歯科診断用テレビシステム導入   |
| 26年度   | 2月:第104回療育談話会   |
| 27年度   | 11月:開設5周年記念イベント、こどもの福祉機器展   |

### 【関係法上の位置付け】

|  |
|--|
| 診療所(無床)医療法第1条の5第2項   |
| ・ 保険医療機関(歯科併設)、障害児(者)リハビリテーション料施設基準届出、脳血管疾患等リハビリテーション料(Ⅱ)施設基準届出、集団コミュニケーション療法料施設基準届出 |
| 指定自立支援医療機関(精神通院医療)障害者総合支援法第59条第1項  |
| 生活保護法等による指定医療機関(医科・歯科)   |

## 2 建物の概要

- (1) 設置主体 豊橋市
- (2) 所在地 豊橋市中野町字中原100番地
- (3) 敷地面積 27,133.18㎡(併設施設:保健所・保健センター、休日夜間急病診療所、休日等歯科診療所)
- (4) 概要 構造:鉄筋コンクリート造2階建(3,800.06㎡)  
駐車場:400台(保健所・保健センターと共用)  
(うち車椅子対応駐車場8台(専用))、駐輪場:10台
- (5) 開館時間 午前8時30分から午後5時15分
- (6) 休館日 日曜日、月曜日、祝日、年末年始

参考 → 上記の併設施設に加え、同一敷地内に豊橋市医師会・豊橋市歯科医師会・豊橋市薬剤師会の関連施設も整備された。「保健・医療・福祉」の機能が一体となったゾーンとして、公募により愛称を「ほいっぷ」とした。

## 3 事業の概要

### (1) 事業の種類

- ・相談事業 電話相談、面接相談、障害児等療育支援事業など
- ・診療事業 診療業務、リハビリテーション業務
- ・通園事業 外来グループ療育事業、重症心身障害児通園事業(児童発達支援事業)、重症心身障害児(者)日中一時支援事業

### (2) 対象地域及び対象者

概ね東三河地域の障害児及びその家族、また、子育てに関する相談などを必要とする家族やところに病を持つ児童及びその家族など(障害児:原則として18歳未満の知的障害児、身体障害児、発達障害児及びこれらの疑いがある児童)。

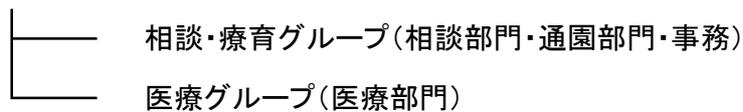
### 【東三河8市町村の人口】

※平成27年国勢調査

| 区分  | 全人口(人)  | 児童人口(人) |        |
|-----|---------|---------|--------|
|     |         | 0～5歳    | 6～17歳  |
| 豊橋市 | 374,765 | 19,967  | 44,459 |
| 豊川市 | 182,436 | 9,996   | 21,926 |
| 蒲郡市 | 81,100  | 3,678   | 9,424  |
| 田原市 | 62,364  | 3,087   | 6,911  |
| 新城市 | 47,133  | 1,888   | 5,084  |
| 設楽町 | 5,074   | 133     | 378    |
| 東栄町 | 3,446   | 100     | 237    |
| 豊根村 | 1,135   | 25      | 98     |
| 計   | 757,453 | 38,874  | 88,517 |

#### 4 職員体制

センター長(小児科医師)



(平成29年3月31日現在)

| 組 織           |           |           | 職員         | 嘱託員 | アルバイト | 合計 | 委託等 |    |
|---------------|-----------|-----------|------------|-----|-------|----|-----|----|
| 相談部門          |           |           | 保健師        | 1   | 1     | 6  |     |    |
|               |           |           | 臨床心理士      | 1   | 1     |    |     |    |
|               |           |           | 保育士        |     | 1     |    | 1   |    |
| 医療部門          | 診療        | 小児科       | 医師         | 1   |       | 13 |     |    |
|               |           | 児童精神科     | 医師         | 1   | 1     |    |     |    |
|               |           | 整形外科      | 医師         |     |       |    |     | 1  |
|               |           | 耳鼻いんこう科   | 医師         |     |       |    | 1   |    |
|               |           | 看護        | 看護師        | 1   |       |    | 4   |    |
|               |           | 心理検査・心理療法 | 臨床心理士      | 2   | 1     |    |     |    |
|               |           | 検査        | 臨床検査技師     |     |       |    | 1   |    |
|               |           | 歯科        | 歯科医師       |     |       |    |     | 2  |
|               |           |           | 歯科衛生士      |     |       |    |     | 7  |
|               | 医療事務      | 事務職       |            |     |       | 6  |     |    |
|               | リハビリテーション | 理学療法      | 理学療法士      | 2   | 2     |    | 16  |    |
|               |           | 作業療法      | 作業療法士      | 3   | 1     |    |     |    |
|               |           | 言語聴覚療法    | 言語聴覚士      | 3   | 5     |    |     |    |
|               | 通園部門      |           | 外来グループ療育事業 | 保育士 | 1     | 3  | 16  |    |
| 看護師           |           |           |            | 1   |       | 2  |     |    |
| 重症心身障害児通園事業ほか |           |           | 理学療法士      | 1   |       |    |     |    |
|               |           |           | 保育士        |     |       | 2  |     |    |
| 事務            |           |           | 事務職        | 4   | 1     | 5  |     |    |
| 合計            |           |           |            | 22  | 16    | 18 | 56  | 16 |

## Ⅱ 各部門の事業概要

### 第1 相談部門

保健師2名、臨床心理士2名、保育士2名の計6名の相談員を配置し、当センター利用の最初の窓口として、下記の業務を行っている。

#### ○実施している業務

##### 1 相談・援助

- (1) 電話・面接相談、診察の受付・予約
- (2) 各種福祉制度の利用案内

##### 2 センター職員との連携・調整

- (1) ケース検討会議等への出席
- (2) 面接相談での専門職の同席依頼や、障害児等療育支援事業についてのコーディネート
- (3) 被虐待の疑いがある患者を発見した場合に、職員からの報告を受け、虐待事例対策委員を招集し、検討会を実施
- (4) 3-(1)における要保護児童対策地域協議会に関して、協議会で検討している児童と関わりのある職員との情報共有

##### 3 関係機関との連絡・調整

- (1) 要保護児童対策地域協議会に出席及び関係機関との連携により、当センターと関わりがある児童についての情報共有と支援内容の確認及び検討
- (2) 児童の療育に携わる関係機関とともに、児童の支援に関して情報交換
- (3) 自立支援協議会に関する会議への出席による各関係機関との情報共有及び意見交換

##### 4 障害児等療育支援事業

- (1) 保育園・幼稚園・認定こども園・小中学校などの巡回相談のコーディネート
- (2) 一般・関係施設職員対象の研修会及び講演会等の開催についてのコーディネート
- (3) 支援事業に関する会議への参加

※ 東三河地域からの相談・問い合わせに対応している。

県内他地域からの相談もあり、他地域の支援機関を紹介するなど柔軟な対応を取るよう心がけている。

## 1 電話相談

電話相談件数、性別、年齢、居住地域、相談内容、紹介経路、対応状況については以下のとおりである(各項目の不明件数は、匿名希望の相談や申告がなかったもの)。

### (1) 電話相談件数

毎年相談件数は増加しており、ほぼ毎月100件以上の相談がある。6、7月や9月が他月と比べて件数が多い理由として、個人懇談や教育機関から当センターへ相談を勧められた保護者の相談が多くなったと推測される(表1-1)。

表1-1 電話相談件数(延べ)

(単位:件数)

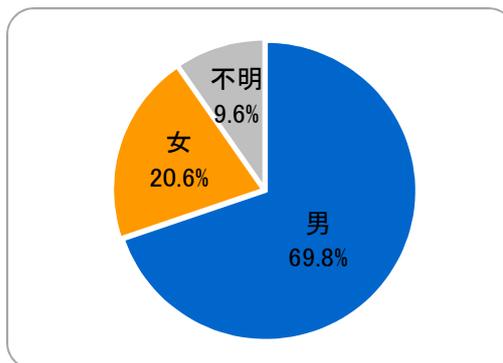
| 区分  | 4月  | 5月  | 6月  | 7月  | 8月  | 9月  | 10月 | 11月 | 12月 | 1月  | 2月  | 3月  | 計     |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|
| H28 | 119 | 124 | 166 | 170 | 109 | 161 | 135 | 107 | 117 | 105 | 95  | 116 | 1,524 |
| H27 | 120 | 122 | 129 | 150 | 92  | 118 | 155 | 125 | 140 | 110 | 117 | 122 | 1,500 |
| H26 | 92  | 100 | 119 | 154 | 95  | 104 | 140 | 89  | 102 | 107 | 128 | 113 | 1,343 |
| H25 | 71  | 99  | 128 | 104 | 87  | 94  | 102 | 83  | 77  | 88  | 79  | 92  | 1,104 |
| H24 | 70  | 59  | 101 | 111 | 78  | 86  | 99  | 83  | 109 | 69  | 84  | 85  | 1,034 |

### (2) 性別

男女比はおよそ男児7割、女児2割であった。匿名のため性別不明が1割であった(表1-2)。

表1-2 男女比

| 区分 | 人数(人) | 構成比(%) |
|----|-------|--------|
| 男  | 1,063 | 69.8   |
| 女  | 314   | 20.6   |
| 不明 | 147   | 9.6    |
| 計  | 1,524 | 100.0  |

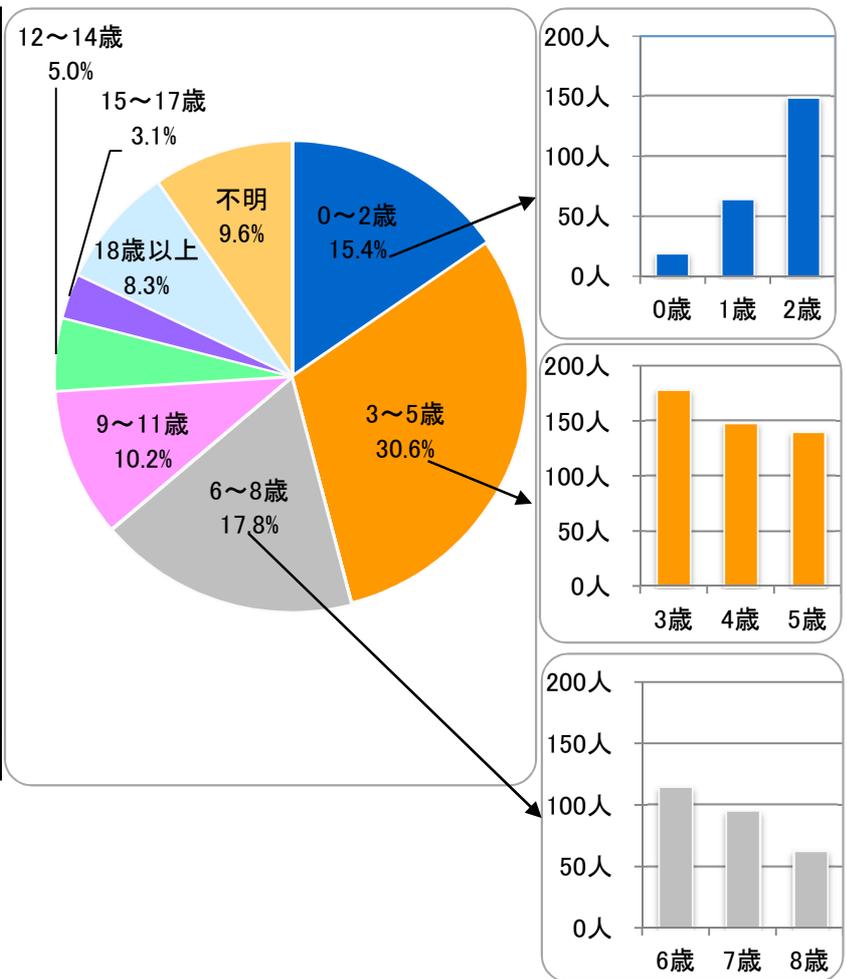


### (3) 年齢

年齢別件数では、「3～5歳」が最も多く全体の約3割を占めている。次いで「6～8歳」、「0～2歳」、の順となっている(表1-3)。

表1-3 年齢別件数

| 区分     | 人数(人) |     | 構成比(%) |
|--------|-------|-----|--------|
| 0～2歳   | 0歳    | 20  | 15.4   |
|        | 1歳    | 65  |        |
|        | 2歳    | 149 |        |
| 3～5歳   | 3歳    | 178 | 30.6   |
|        | 4歳    | 148 |        |
|        | 5歳    | 140 |        |
| 6～8歳   | 6歳    | 114 | 17.8   |
|        | 7歳    | 95  |        |
|        | 8歳    | 63  |        |
| 9～11歳  | 156   |     | 10.2   |
| 12～14歳 | 76    |     | 5.0    |
| 15～17歳 | 47    |     | 3.1    |
| 18歳以上  | 127   |     | 8.3    |
| 不明     | 146   |     | 9.6    |
| 計      | 1,524 |     | 100.0  |

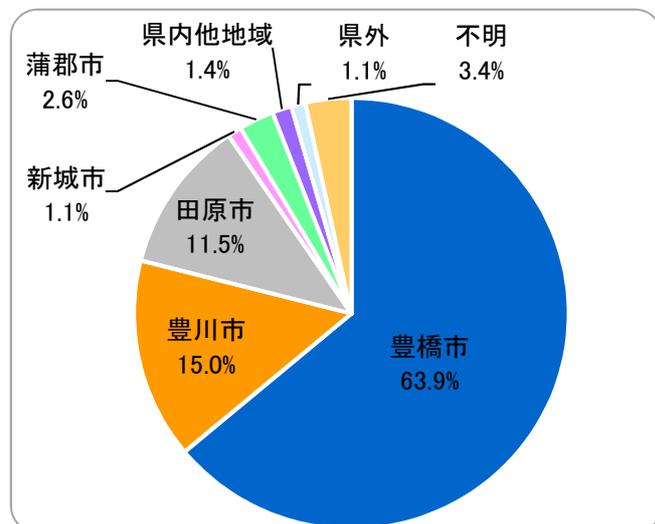


### (4) 居住地域

東三河地域からの相談が中心であるが、県内他地域や県外からの相談も入っている。相談内容に応じて面接を行うほか、居住地域の支援施設の紹介や連絡等も行っている(表1-4)。

表1-4 居住地域

| 地域    | 人数(人) | 構成比(%) |
|-------|-------|--------|
| 豊橋市   | 974   | 63.9   |
| 豊川市   | 229   | 15.0   |
| 田原市   | 175   | 11.5   |
| 新城市   | 16    | 1.1    |
| 蒲郡市   | 40    | 2.6    |
| 県内他地域 | 22    | 1.4    |
| 県外    | 16    | 1.1    |
| 不明    | 52    | 3.4    |
| 計     | 1,524 | 100.0  |



## (5)相談内容

相談内容としては、「発達の遅れ」、「医療」が半分以上を占め、次いで「育児の心配・不安」、「行動面の問題」が多い。「医療」は、受診希望に関する相談を含むため、多い結果になったと考えられる(表1-5)。

表1-5 相談内容(重複あり)

| 相談内容     | 件数(件) | 構成比(%) |
|----------|-------|--------|
| 発達の遅れ    | 820   | 29.5   |
| 集団適応     | 161   | 5.8    |
| 登園・登校しぶり | 91    | 3.3    |
| 情緒・感情の問題 | 68    | 2.4    |
| 行動面の問題   | 206   | 7.4    |
| 医療       | 722   | 26.0   |
| 福祉制度     | 52    | 1.9    |
| 進路       | 59    | 2.1    |
| 育児の心配・不安 | 228   | 8.2    |
| 家族関係     | 111   | 4.0    |
| 社会生活     | 83    | 3.0    |
| 親自身の問題   | 121   | 4.4    |
| その他      | 55    | 2.0    |
| 計        | 2,777 | 100.0  |

## (6) 紹介経路

「発達センター内」からの紹介が最も多く、次いで「医療機関」、「ホームページ」からの紹介となっている。「発達センター」からの紹介では、開設7年を経過し、継続ケースが多くなっていることも一因であると考えられる。また、「医療機関」からの紹介では、連携先の豊橋市民病院から紹介されるケースが多い(表1-6)。

表1-6 紹介経路(重複あり)

| 紹介経路      | 件数(件) |                    | 構成比(%) |
|-----------|-------|--------------------|--------|
| 医療機関      | 224   | 市内(121)<br>市外(103) | 14.5   |
| 発達センター内   | 341   |                    | 22.1   |
| 保育園・幼稚園など | 138   | 市内(111)<br>市外( 27) | 8.9    |
| 教育機関      | 161   | 市内(113)<br>市外( 48) | 10.4   |
| 保健機関      | 160   | 市内(136)<br>市外( 24) | 10.3   |
| 福祉機関      | 117   | 市内( 91)<br>市外( 26) | 7.6    |
| 家族・親族     | 29    |                    | 1.9    |
| 友人・知人     | 47    |                    | 3.0    |
| 広報・パンフレット | 6     |                    | 0.4    |
| ホームページ    | 196   |                    | 12.7   |
| その他       | 15    |                    | 1.0    |
| 不明        | 111   |                    | 7.2    |
| 計         | 1,545 |                    | 100.0  |

## (7) 対応状況

「相談・助言」、「診療部への紹介」がそれぞれ全体の約3割強を占めている。医師の診察・フォローの希望は依然として高いが、予約から初診までに数カ月を要する現状がある(表1-7)。

表1-7 対応状況(重複あり)

| 対応方法      | 人数(人) | 構成比(%) |
|-----------|-------|--------|
| 診療部への紹介   | 528   | 31.6   |
| 他機関の紹介・連絡 | 184   | 11.0   |
| 面接の予約     | 236   | 14.1   |
| 相談・助言     | 586   | 35.1   |
| 巡回相談の紹介   | 30    | 1.8    |
| つつじ教室の紹介  | 18    | 1.1    |
| その他       | 89    | 5.3    |
| 計         | 1,671 | 100.0  |

## 2 面接相談

面接は原則1回60分とし、相談部職員の臨床心理士、保健師、保育士のいずれかの職種で対応し、必要に応じリハビリスタッフも同席して行っている。現在の心配ごとを整理しながら問題解決のための支援を行っている。

### (1) 面接相談件数

新規件数、延べ件数共に毎年増加している(表1-8)。

表1-8 面接件数

(単位:件)

| 区分  | H28 |     | H27 |     | H26 |     | H25 |     | H24 |     |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
|     | 新規  | 延べ  |
| 4月  | 35  | 48  | 43  | 51  | 34  | 44  | 17  | 28  | 19  | 19  |
| 5月  | 53  | 67  | 22  | 36  | 31  | 46  | 31  | 39  | 26  | 30  |
| 6月  | 58  | 79  | 51  | 60  | 27  | 39  | 34  | 47  | 31  | 41  |
| 7月  | 61  | 78  | 54  | 66  | 37  | 49  | 41  | 50  | 24  | 37  |
| 8月  | 52  | 63  | 41  | 65  | 28  | 39  | 26  | 41  | 21  | 32  |
| 9月  | 38  | 54  | 39  | 56  | 37  | 47  | 30  | 38  | 23  | 31  |
| 10月 | 51  | 70  | 48  | 69  | 34  | 49  | 39  | 53  | 34  | 40  |
| 11月 | 39  | 48  | 47  | 60  | 37  | 51  | 26  | 44  | 22  | 34  |
| 12月 | 39  | 57  | 42  | 61  | 32  | 47  | 23  | 32  | 19  | 29  |
| 1月  | 26  | 48  | 34  | 42  | 27  | 43  | 27  | 38  | 29  | 37  |
| 2月  | 32  | 46  | 37  | 44  | 41  | 59  | 30  | 37  | 32  | 46  |
| 3月  | 33  | 56  | 46  | 60  | 50  | 63  | 17  | 30  | 21  | 37  |
| 計   | 517 | 714 | 504 | 670 | 415 | 576 | 341 | 477 | 301 | 413 |

### (2) 性別

男女比はおよそ7:3の割合で、男児の方が多い(表1-9)。

表1-9 男女比

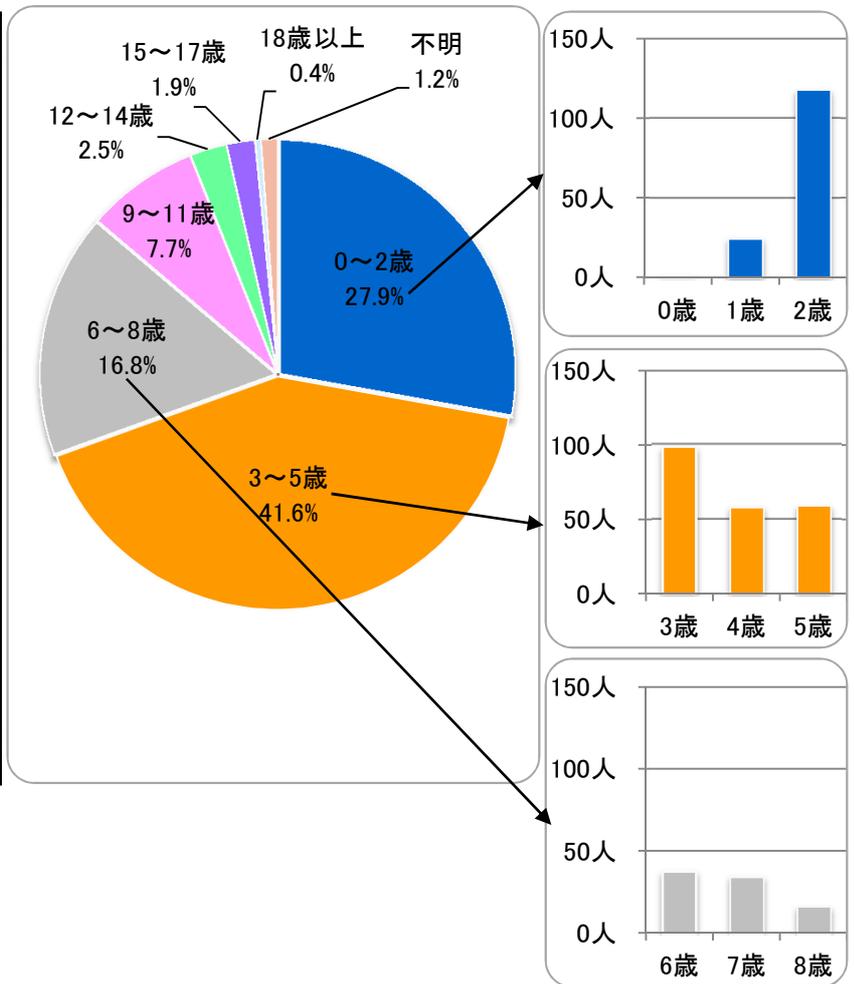
| 区分 | 人数(人) | 構成比(%) |
|----|-------|--------|
| 男  | 373   | 72.1   |
| 女  | 144   | 27.9   |
| 計  | 517   | 100.0  |

### (3) 年齢

年齢別件数では、「3～5歳」が最も多く、全体の約5割を占めている。次いで「0～2歳」、「6～8歳」の順となっている(表1-10)。

表1-10 年齢別件数

| 区分     | 人数(人) |     | 構成比(%) |     |
|--------|-------|-----|--------|-----|
| 0～2歳   | 0歳    | 1   | 27.9   |     |
|        | 1歳    | 25  |        |     |
|        | 2歳    | 118 |        |     |
| 3～5歳   | 3歳    | 98  | 41.6   |     |
|        | 4歳    | 58  |        |     |
|        | 5歳    | 59  |        |     |
| 6～8歳   | 6歳    | 37  | 16.8   |     |
|        | 7歳    | 34  |        |     |
|        | 8歳    | 16  |        |     |
| 9～11歳  |       |     | 40     | 7.7 |
| 12～14歳 |       |     | 13     | 2.5 |
| 15～17歳 |       |     | 10     | 1.9 |
| 18歳以上  |       |     | 2      | 0.4 |
| 不明     |       |     | 6      | 1.2 |
| 計      | 517   |     | 100.0  |     |

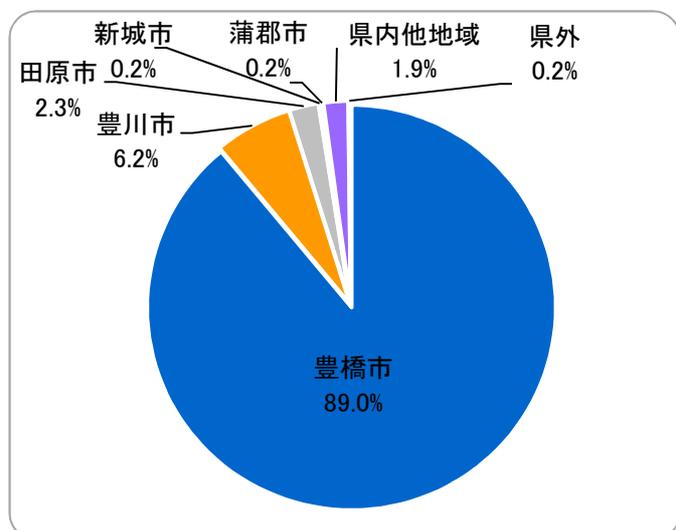


### (4) 居住地域

電話相談と同様に「豊橋市」内からの相談が最も多く、全体の約9割を占めている。次いで「豊川市」「田原市」の順となっている(表1-11)。

表1-11 居住地域

| 地域    | 人数(人) | 構成比(%) |
|-------|-------|--------|
| 豊橋市   | 460   | 89.0   |
| 豊川市   | 32    | 6.2    |
| 田原市   | 12    | 2.3    |
| 新城市   | 1     | 0.2    |
| 蒲郡市   | 1     | 0.2    |
| 県内他地域 | 10    | 1.9    |
| 県外    | 1     | 0.2    |
| 計     | 517   | 100.0  |



## (5)相談内容

相談内容ごとの集計では、「発達の遅れ」の相談が最も多く全体の約3割を占めている。次いで、「医療」の順となっている。

「発達の遅れ」に関する相談では、自身の子どもにどう関わっていけば良いか、育児支援を要する相談も含まれていることが多い。「医療」には、受診予約に関する相談も含まれている(表1-12)。

表1-12 相談内容(重複あり)

| 相談内容     | 件数(件) | 構成比(%) |
|----------|-------|--------|
| 発達の遅れ    | 370   | 33.6   |
| 集団適応     | 95    | 8.6    |
| 登園・登校しぶり | 25    | 2.3    |
| 情緒・感情の問題 | 21    | 1.9    |
| 行動面の問題   | 91    | 8.3    |
| 医療       | 272   | 24.7   |
| 福祉制度     | 26    | 2.4    |
| 進路       | 28    | 2.5    |
| 育児の心配・不安 | 91    | 8.3    |
| 家族関係     | 42    | 3.8    |
| 社会生活     | 25    | 2.3    |
| 親自身の問題   | 11    | 1.0    |
| その他      | 3     | 0.3    |
| 計        | 1,100 | 100    |

## (6) 紹介経路

市内の「保健機関」からの紹介が最も多く、次いで「発達センター内」、「ホームページ」となっている。「保健機関」からの紹介としては、乳幼児健診や健診事後相談で勧められるケースが多い(表1-13)。

表1-13 紹介経路(重複あり)

| 紹介経路      | 件数(件) |         | 構成比(%) |
|-----------|-------|---------|--------|
| 医療機関      | 29    | 市内( 17) | 5.6    |
|           |       | 市外( 12) |        |
| 発達センター内   | 111   |         | 21.3   |
| 保育園・幼稚園など | 59    | 市内( 57) | 11.3   |
|           |       | 市外( 2)  |        |
| 教育機関      | 32    | 市内( 24) | 6.1    |
|           |       | 市外( 8)  |        |
| 保健機関      | 138   | 市内(136) | 26.4   |
|           |       | 市外( 2)  |        |
| 福祉機関      | 9     | 市内( 7)  | 1.7    |
|           |       | 市外( 2)  |        |
| 家族・親族     | 8     |         | 1.5    |
| 友人・知人     | 22    |         | 4.2    |
| 広報・パンフレット | 4     |         | 0.8    |
| ホームページ    | 100   |         | 19.2   |
| 不明        | 4     |         | 0.8    |
| その他       | 6     | 市内( 4)  | 1.1    |
|           |       | 市外( 2)  |        |
| 計         | 522   |         | 100.0  |

## (7) 対応状況

「相談・助言」、「診療部への紹介」が多い。「他機関の紹介・連絡」としては、他の医療機関や保健機関、福祉サービス等を紹介している(表1-14)。

表1-14 対応状況(重複あり)

| 対応状況      | 件数(件) | 構成比(%) |
|-----------|-------|--------|
| 診療部への紹介   | 257   | 40.1   |
| 他機関の紹介・連絡 | 53    | 8.3    |
| 相談・助言     | 273   | 42.7   |
| 巡回相談の紹介   | 9     | 1.4    |
| つつじ教室の紹介  | 19    | 3.0    |
| 相談の継続     | 29    | 4.5    |
| 計         | 640   | 100.0  |

### 3 障害児等療育支援事業

市内の保育・教育・療育に携わる各施設からの申込みに応じ、専門職を派遣し、子どもや保護者および施設職員を対象とした支援を行っている。相談部職員がコーディネーターとして申込内容に応じ診療部門の専門職などの派遣や日程等の調整を行い、支援にあっている。

#### (1) 在宅支援訪問療育等指導事業

市内各施設に専門職を派遣し、発達に心配のある子ども及び家族に対する支援を行っている。

講演などでは、今年で3年目となる発達に心配のある中学生の保護者を対象とした高校進学のための情報交換会や、毎年行っている就学を控えた子どもの保護者を対象とした講演会や座談会を引き続き行った(表1-15、1-16、1-17)。

表1-15 実施内容及び回数

| 内 容                                  | H28 |         | H27 |         | H26 |         | H25 |         | H24 |         |
|--------------------------------------|-----|---------|-----|---------|-----|---------|-----|---------|-----|---------|
|                                      | 回数  | 延べ人数(人) |
| 1 保護者を含めたケース会議                       | 1   | 4       | 6   | 8       | 14  | 19      | 15  | 16      | 15  | 16      |
| 2 家庭訪問・福祉サービスの手続きの同行等                | 2   | 2       | 1   | 1       | 8   | 8       | 36  | 36      | 22  | 22      |
| 3 保健センター健診事後教室やグループ活動などにおける保護者や児への支援 | 30  | 458     | 21  | 318     | 25  | 386     | 20  | 295     | 17  | 271     |
| 4 講演など                               | 6   | 251     | 7   | 272     | 6   | 256     | 12  | 194     | 13  | 307     |
| 計                                    | 39  | 715     | 35  | 599     | 53  | 669     | 83  | 541     | 67  | 616     |

表1-16 対象児(者)数

| 区 分     | 延べ人数(人) |       |       |       |       |
|---------|---------|-------|-------|-------|-------|
|         | H28     | H27   | H26   | H25   | H24   |
| 保護者 ※   | 725     | 616   | 680   | 539   | 621   |
| 知的障害児   | 2       | 14    | 17    | 20    | 10    |
| 自閉症児    | 69      | 44    | 41    | 57    | 27    |
| 肢体不自由児  | 57      | 33    | 44    | 35    | 15    |
| 重症心身障害児 | 9       | 5     | 13    | 44    | 15    |
| その他     | 578     | 503   | 554   | 385   | 549   |
| 計       | 1,440   | 1,215 | 1,349 | 1,080 | 1,237 |

※ 対象児(知的障害児、自閉症児、肢体不自由児、重症心身障害児、その他)の保護者を含む。

表1-17 職員の参加状況

| 職 種      | 延べ人数(人) |     |     |     |     |
|----------|---------|-----|-----|-----|-----|
|          | H28     | H27 | H26 | H25 | H24 |
| 小児科医師    | 3       | 4   | 2   | 2   | 2   |
| 児童精神科医師  | 2       | 2   | 2   | 1   | 1   |
| 理学療法士    | 20      | 15  | 27  | 51  | 13  |
| 作業療法士    | 22      | 18  | 18  | 8   | 16  |
| 言語聴覚士    | 10      | 19  | 15  | 10  | 11  |
| 臨床心理士    | 2       | 7   | 4   | 5   | 6   |
| 保育士      | 12      | 6   | 3   | 5   | ※26 |
| 保健師      | 2       | 2   | 2   | 10  | ※55 |
| コーディネーター | 21      | 17  | 26  | 46  | /   |
| その他      | 7       | 14  | 12  | 8   |     |
| 計        | 101     | 104 | 111 | 146 | 141 |

※H24の保育士、保健師についてはコーディネーターを含む

(2)施設支援一般指導事業

市内各施設に専門職を派遣し、巡回相談及び講演会、研修会などを実施している。

保育園・幼稚園・認定こども園への支援としては、従来から行っている巡回相談の他、今年で3年目となる当センター専門職による4回シリーズの研修会を実施した。

小中学校、及び特別支援学校への支援としては、例年どおり巡回相談や自立活動相談を行ったほか市立くすのき特別支援学校からの依頼を受け、当センター専門職を市内の施設に派遣した。

その他、自立支援協議会と連携し、放課後等デイサービス事業所職員を対象に、事例検討会を年8回実施した(表1-18、1-19、1-20)。

表1-18 施設種別及び実施回数

| 施 設    | H28 |     | H27 |     | H26 |     | H25 |     | H24 |     |
|--------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
|        | 実数  | 延回数 |
| 保育園    | 29  | 47  | 32  | 55  | 32  | 51  | 31  | 47  | 31  | 84  |
| 幼稚園    | 10  | 15  | 9   | 11  | 12  | 24  | 8   | 12  | 15  | 37  |
| 小学校    | 10  | 16  | 13  | 20  | 16  | 22  | 13  | 17  | 5   | 7   |
| 中学校    | 0   | 0   | 0   | 0   | 1   | 1   | 2   | 1   | 1   | 2   |
| 特別支援学校 | 2   | 18  | 2   | 21  | 1   | 21  | 1   | 29  | 1   | 32  |
| 施設     | 15  | 33  | 12  | 30  | 5   | 29  | 5   | 22  | 5   | 72  |
| その他    | 30  | 52  | 29  | 45  | 26  | 42  | 17  | 39  | 5   | 26  |
| 計      | 96  | 181 | 97  | 182 | 93  | 190 | 77  | 167 | 63  | 260 |

表1-19 参加関係者数

| 職 種        | 延べ人数(人) |       |       |       |       |
|------------|---------|-------|-------|-------|-------|
|            | H28     | H27   | H26   | H25   | H24   |
| 保育園職員      | 415     | 400   | 365   | 291   | 197   |
| 幼稚園教諭      | 122     | 65    | 117   | 51    | 735   |
| 学校職員       | 561     | 420   | 454   | 242   | 399   |
| 施設職員       | 524     | 457   | 324   | 343   | 480   |
| その他(保健師含む) | 161     | 201   | 132   | 188   | 150   |
| 計          | 1,783   | 1,543 | 1,392 | 1,115 | 1,961 |

表1-20 職員の参加状況

| 職 種      | 延べ人数(人) |     |     |     |     |
|----------|---------|-----|-----|-----|-----|
|          | H28     | H27 | H26 | H25 | H24 |
| 小児科医師    | 3       | 4   | 2   | 2   | 3   |
| 児童精神科医師  | 3       | 2   | 3   | 1   | 1   |
| 理学療法士    | 46      | 33  | 40  | 50  | 48  |
| 作業療法士    | 50      | 54  | 32  | 33  | 86  |
| 言語聴覚士    | 56      | 51  | 54  | 40  | 37  |
| 臨床心理士    | 75      | 77  | 61  | 74  | 76  |
| 保育士      | 91      | 100 | 80  | 58  | 49  |
| 保健師      | 1       | 0   | 1   | 22  | 20  |
| コーディネーター | 133     | 110 | 130 | 111 | 174 |
| その他      | 4       | 12  | 3   | 7   | 14  |
| 計        | 462     | 443 | 406 | 398 | 508 |

## 【相談部門の総括】

電話及び面接相談については、毎年増加しており、相談内容としては、受診に関する相談の他、発達の遅れや、育児の心配・不安、行動面の問題に関する相談が多い。

幼児期は、家庭では育児の悩みはないが、幼稚園・保育園から発達や集団適応に関することで指摘を受け、どのように受け止め、解決すればよいのか分からないという内容の相談が多くあった。子どもの姿の受け止めが、家庭と幼稚園・保育園とで差があるのではないか思われ、家庭だけでの問題解決は難しく、幼稚園・保育園が保護者へ継続的に養育支援していくことも必要ではないかと感じる。

また、学齢期では、学習面での問題についての相談が増加してきた。特別な支援を必要とする児童・生徒が、必要な校内体制を整え支援をしていくことも課題である。また、教育機関や医療、福祉機関などの紹介も増えていることから、子どもと家庭を支援するシステムに乗れるように対応していけると良い。

障害児等療育支援事業については、地域支援の一環として地域のニーズに応えながら巡回相談や講演会などを実施してきた。

平成27年度に開始した放課後等デイサービス事業所の職員向けの事例検討会については、対象事業所が近年増加傾向にあるため、今年度回数を増やして実施した。年間を通じたアンケート結果からは、「他の事業所の意見や専門職の意見が参考になった」「他の事業所の取り組みがわかった」という意見が多くみられ、検討会を通じて事業所外のような意見や取り組みを知り、支援方法について学ぶ機会となったことが伺えた。

平成28年度は以上のような取り組みを行ったが、今後も地域の障害理解などの情報を的確に把握することを心がけ、相談支援と地域との連携をさらに深めていきたい。

## 第2 医療部門

### 1 診療業務

小児科(常勤1名)、児童精神科(常勤1名、非常勤2名)、耳鼻いんこう科(非常勤・週2回)、整形外科(非常勤・週1回)、歯科(非常勤・週1回)による診察を行った。また必要に応じて心理検査・心理面接、生理機能検査、画像検査を行った(表2-1、2-2、2-3、2-4、2-5、2-9、2-11)。

#### (1)小児科

子どもの心の問題や発達についての診察、検査、各種リハビリテーション、心理面接を行った(表2-6)。

#### (2)児童精神科

子どもの心の問題や発達についての診察、検査、各種リハビリテーション、心理面接を行った(表2-6)。

#### (3)整形外科(水曜午後のみ診療)

子どもの運動発達についての診察、保健センターでの健診後の精密健康診査、検査(各種リハビリテーション等)を行った。また足の変形や補装具、治療用靴などの相談、作製を行った(表2-7、2-8)。

#### (4)耳鼻いんこう科(火曜日、金曜日)

ことばの遅れや聴こえについての診察、聴力検査を行った(表2-9、2-10)。

#### (5)歯科(木曜日午前のみ診療)

障害児歯科診療・障害児予防歯科指導・歯科相談を、歯科医師2名(豊橋市歯科医師会会員歯科医師10名によるローテーション)、専門医2名(月2回)、歯科衛生士7名の体制で行った。

表2-1 診察日

(平成29年3月現在)

| 区分 | 火                       | 水                    | 木                  | 金                       | 土            |
|----|-------------------------|----------------------|--------------------|-------------------------|--------------|
| 午前 | 小児科<br>耳鼻いんこう科          | 小児科<br>児童精神科         | 小児科<br>児童精神科<br>歯科 | 小児科<br>児童精神科<br>耳鼻いんこう科 | 小児科<br>児童精神科 |
| 午後 | 小児科<br>児童精神科<br>耳鼻いんこう科 | 小児科<br>児童精神科<br>整形外科 | 小児科<br>児童精神科       | 小児科<br>児童精神科<br>耳鼻いんこう科 | 児童精神科        |

表2-2 診療科別・月別の利用状況(延べ人数)

(単位:人)

| 区分   | 小児科   | 児童精神科 | 整形外科 | 耳鼻いんこう科 | 歯科  | リハビリ   | 計      | 開業日(日) | 1日あたり人数 | 実人数    |
|------|-------|-------|------|---------|-----|--------|--------|--------|---------|--------|
| 4月   | 318   | 547   | 52   | 83      | 55  | 986    | 2,041  | 21     | 97      | 1,438  |
| 5月   | 298   | 519   | 40   | 68      | 42  | 817    | 1,784  | 18     | 99      | 1,375  |
| 6月   | 321   | 704   | 66   | 70      | 74  | 993    | 2,228  | 22     | 101     | 1,599  |
| 7月   | 298   | 666   | 56   | 95      | 63  | 1,006  | 2,184  | 22     | 99      | 1,596  |
| 8月   | 286   | 510   | 50   | 114     | 51  | 917    | 1,928  | 21     | 92      | 1,438  |
| 9月   | 248   | 638   | 56   | 95      | 58  | 944    | 2,039  | 21     | 97      | 1,495  |
| 10月  | 298   | 613   | 53   | 71      | 61  | 991    | 2,087  | 21     | 99      | 1,541  |
| 11月  | 277   | 601   | 49   | 100     | 48  | 972    | 2,047  | 20     | 102     | 1,523  |
| 12月  | 263   | 683   | 56   | 89      | 60  | 918    | 2,069  | 19     | 109     | 1,566  |
| 1月   | 273   | 636   | 41   | 93      | 69  | 927    | 2,039  | 20     | 102     | 1,538  |
| 2月   | 284   | 599   | 49   | 90      | 69  | 952    | 2,043  | 19     | 108     | 1,509  |
| 3月   | 307   | 689   | 53   | 103     | 81  | 1,037  | 2,270  | 23     | 99      | 1,639  |
| H28計 | 3,471 | 7,405 | 621  | 1,071   | 731 | 11,460 | 24,759 | 247    | 100     | 18,257 |
| H27計 | 3,357 | 6,738 | 641  | 983     | 803 | 11,066 | 23,588 | 249    | 95      | 16,733 |
| H26計 | 3,232 | 6,905 | 611  | 715     | 703 | 10,279 | 22,445 | 249    | 90      | 15,891 |
| H25計 | 3,351 | 7,040 | 651  | 740     | 831 | 9,654  | 22,267 | 251    | 89      | 15,835 |
| H24計 | 3,347 | 6,412 | 534  | 786     | 741 | 10,082 | 21,902 | 249    | 88      | 15,309 |

※ リハビリの人数は同日に複数のリハビリを行った場合は、1人として計上している。

表2-3 診療科別・年齢別受診状況

(単位:人)

| 区分     | 小児科    | 児童精神科 | 整形外科 | 耳鼻いんこう科 | 歯科  | H28計   | H27計   | H26計   | H25計   | H24計   |
|--------|--------|-------|------|---------|-----|--------|--------|--------|--------|--------|
| 0~2歳   | 402    | 106   | 209  | 235     | 6   | 958    | 1,027  | 890    | 1,246  | 1,063  |
| 3~5歳   | 4,282  | 1,330 | 97   | 272     | 133 | 6,114  | 5,732  | 5,452  | 5,317  | 5,314  |
| 6~8歳   | 3,812  | 1,355 | 98   | 101     | 124 | 5,490  | 5,200  | 5,109  | 5,319  | 5,401  |
| 9~11歳  | 1,590  | 1,620 | 64   | 98      | 185 | 3,557  | 3,352  | 3,176  | 3,225  | 3,113  |
| 12~14歳 | 762    | 1,249 | 48   | 94      | 77  | 2,230  | 2,077  | 2,082  | 1,878  | 1,560  |
| 15歳~   | 513    | 1,421 | 54   | 96      | 99  | 2,183  | 1,922  | 1,689  | 1,540  | 1,290  |
| H28計   | 11,361 | 7,081 | 570  | 896     | 624 | 20,532 |        |        |        |        |
| H27計   | 10,649 | 6,563 | 585  | 837     | 676 |        | 19,310 |        |        |        |
| H26計   | 10,023 | 6,697 | 527  | 640     | 611 |        |        | 18,398 |        |        |
| H25計   | 9,831  | 6,716 | 566  | 684     | 728 |        |        |        | 18,525 |        |
| H24計   | 9,861  | 6,042 | 451  | 727     | 660 |        |        |        |        | 17,741 |

・月ごとの実患者数集計。患者1人つき診療科の重複あり。小児科:リハビリ前の体調確認の診察を含む。

表2-4 年齢別受診状況 ・月ごとの実人数の集計 (単位:人)

| 区分     | H28    | H27    | H26    | H25    | H24    | H28<br>構成比(%) |
|--------|--------|--------|--------|--------|--------|---------------|
| 0～2歳   | 819    | 862    | 747    | 1,065  | 914    | 4.5           |
| 3～5歳   | 5,178  | 4,782  | 4,537  | 4,342  | 4,427  | 28.4          |
| 6～8歳   | 4,779  | 4,428  | 4,324  | 4,426  | 4,519  | 26.2          |
| 9～11歳  | 3,251  | 2,970  | 2,837  | 2,879  | 2,819  | 17.8          |
| 12～14歳 | 2,122  | 1,915  | 1,880  | 1,691  | 1,436  | 11.6          |
| 15歳～   | 2,108  | 1,776  | 1,566  | 1,432  | 1,194  | 11.5          |
| 計      | 18,257 | 16,733 | 15,891 | 15,835 | 15,309 | 100.0         |

表2-5 地域別受診状況 ・月ごとの実人数の集計 (単位:人)

| 区分    | H28    | H27    | H26    | H25    | H24    | H28<br>構成比(%) |
|-------|--------|--------|--------|--------|--------|---------------|
| 豊橋市   | 13,439 | 12,252 | 11,515 | 11,350 | 11,029 | 73.6          |
| 豊川市   | 2,871  | 2,593  | 2,553  | 2,671  | 2,569  | 15.7          |
| 田原市   | 1,161  | 1,053  | 1,002  | 975    | 873    | 6.4           |
| 新城市   | 428    | 427    | 426    | 454    | 434    | 2.3           |
| 蒲郡市   | 181    | 206    | 198    | 207    | 193    | 1.0           |
| 設楽町   | 11     | 20     | 21     | 23     | 24     | 0.1           |
| その他県内 | 72     | 97     | 97     | 82     | 88     | 0.4           |
| 県外    | 94     | 85     | 79     | 73     | 9      | 0.5           |
| 計     | 18,257 | 16,733 | 15,891 | 15,835 | 15,219 | 100.0         |

表2-6 小児科・児童精神科:診断名別受診状況

(単位:人)

| 診断名                                     | H28   | H27   | H26   | H25   | H24   |
|---|-------|-------|-------|-------|-------|
| 広汎性発達障害 ※                               | 3,220 | 2,803 | 2,199 | 2,407 | 2,033 |
| 注意欠陥多動性障害                               | 344   | 286   | 191   | 231   | 158   |
| 知的障害                                    | 195   | 171   | 109   | 118   | 93    |
| 言語発達遅滞                                  | 182   | 128   | 74    | 92    | 60    |
| 構音障害                                    | 151   | 115   | 63    | 88    | 56    |
| 適応障害                                    | 81    | 71    | 59    | 66    | 42    |
| ダウン症候群                                  | 71    | 61    | 53    | 61    | 47    |
| 脳性麻痺                                    | 69    | 66    | 50    | 53    | 42    |
| その他の染色体異常                               | 71    | 60    | 42    | 43    | 37    |
| 学習障害                                    | 45    | 36    | 24    | 38    | 33    |
| その他の先天性奇形                               | 44    | 37    | 33    | 34    | 24    |
| 吃音症                                     | 46    | 27    | 20    | 24    | 19    |
| 反応性愛着障害                                 | 32    | 28    | 20    | 23    | 18    |
| 身体表現性障害                                 | 23    | 20    | 18    | 22    | 17    |
| てんかん症候群                                 | 32    | 21    | 16    | 19    | 13    |
| チック障害                                   | 22    | 24    | 20    | 19    | 13    |
| 受容性言語障害                                 | 27    | 19    | 14    | 17    | 12    |
| 反抗挑戦性障害                                 | 13    | 12    | 12    | 16    | -     |
| 情緒障害                                    | 28    | 25    | 8     | 14    | 10    |
| その他(統合失調症、<br>摂食障害、分離不安障<br>害、行為障害等を含む) | 340   | 276   | 186   | 203   | 147   |
| 計                                       | 5,036 | 4,286 | 3,211 | 3,588 | 2,874 |

※ 広汎性発達障害の詳細

(単位:人)

| 広汎性発達障害     |     |     |     |     |     |
|-------------|-----|-----|-----|-----|-----|
| 区分          | H28 | H27 | H26 | H25 | H24 |
| 自閉性障害       | 914 | 740 | 433 | 446 | 398 |
| 知的障害を伴う     | 164 | 154 | 114 | 111 | 113 |
| 不注意・多動症状を伴う | 463 | 390 | 303 | 306 | 264 |

広汎性発達障害発達障害3,220人の中には、自閉性障害914人、知的障害を伴う広汎性発達障害164人、不注意・多動症状を伴う広汎性発達障害463人を含む。

表2-7 整形外科:初診患者紹介元状況

構成比(%)

| 区分         | H28   | H27   | H26   | H25   | H24   |
|------------|-------|-------|-------|-------|-------|
| センター他科・他部門 | 10.3  | 2.8   | 5.1   | 15.4  | 11.2  |
| 健診(市内・市外)  | 80.0  | 84.4  | 85.2  | 70.2  | 77.1  |
| 医療機関       | 3.9   | 6.2   | 1.7   | 5.7   | 5.6   |
| その他        | 5.8   | 6.6   | 8.0   | 8.7   | 6.1   |
| 計          | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |

表2-8 整形外科:初診受診理由状況

構成比(%)

| 区分          | H28   | H27   | H26   | H25   | H24   |
|-------------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 健診後精密健康診査   | 80.0  | 84.4  | 85.2  | 70.2  | 77.1  |
| 装具相談・作製希望   | 12.7  | 6.2   | 9.1   | 16.8  | 12.2  |
| 作業療法・理学療法希望 | 3.4   | 4.7   | 2.8   | 5.8   | 2.8   |
| その他         | 3.9   | 4.7   | 2.9   | 7.2   | 7.9   |
| 計           | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |

表2-9 耳鼻いんこう科:受診理由状況

構成比(%)

| 区分          | H28   | H27   | H26   | H25   | H24   |
|-------------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 聴力検査希望      | 89.4  | 91.7  | 95.4  | 91.2  | 86.5  |
| 言語療法希望      | 2.8   | 4.8   | 2.3   | 3.7   | 6.4   |
| 耳垢除去等(処置困難) | 6.0   | 3.5   | 2.3   | 4.4   | 5.2   |
| その他         | 1.8   | 0.0   | 0.0   | 0.7   | 1.9   |
| 計           | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |

表2-10 耳鼻いんこう科:初診患者紹介元の状況

構成比(%)

| 区分         | H28   | H27   | H26   | H25   | H24   |
|------------|-------|-------|-------|-------|-------|
| センター他科・他部門 | 17.1  | 11.8  | 3.8   | 16.2  | 52.3  |
| 健診(市内・市外)  | 75.1  | 76.4  | 78.1  | 67.7  | 20.6  |
| 医療機関       | 1.8   | 3.5   | 8.3   | 8.8   | 16.1  |
| 学校         | 2.8   | 1.7   | 3.0   | 3.7   | 2.6   |
| 保育園・幼稚園    | 0.0   | 0.9   | 0.8   | 0.7   | -     |
| 療育機関       | 0.0   | 0.9   | -     | -     | -     |
| その他        | 3.2   | 4.8   | 6.0   | 2.9   | 8.4   |
| 計          | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |

## (6)心理検査・心理面接

診察を受けた子どもに対し、必要に応じて心理検査・心理面接を行った。心理検査・面接は、臨床心理士3名体制で行った(嘱託員1名含む)(表2-11)。

表2-11 心理検査・心理面接実施状況

(延べ件数)

| 区分   |     | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 計   |
|------|-----|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|-----|
| 心理検査 | H28 | 29 | 32 | 36 | 38 | 42 | 20 | 18  | 15  | 17  | 17 | 21 | 35 | 320 |
|      | H27 | 25 | 32 | 36 | 29 | 36 | 17 | 18  | 15  | 12  | 15 | 13 | 31 | 279 |
|      | H26 | 22 | 17 | 20 | 22 | 23 | 19 | 23  | 20  | 16  | 21 | 17 | 14 | 234 |
|      | H25 | 24 | 27 | 27 | 19 | 18 | 20 | 17  | 26  | 17  | 20 | 15 | 27 | 257 |
|      | H24 | 26 | 23 | 21 | 22 | 35 | 30 | 27  | 13  | 22  | 27 | 18 | 26 | 290 |
| 心理面接 | H28 | 57 | 68 | 75 | 69 | 64 | 60 | 64  | 72  | 71  | 64 | 69 | 86 | 819 |
|      | H27 | 51 | 43 | 49 | 49 | 51 | 41 | 61  | 62  | 61  | 46 | 57 | 66 | 637 |
|      | H26 | 27 | 40 | 47 | 42 | 33 | 50 | 36  | 42  | 46  | 43 | 44 | 49 | 499 |
|      | H25 | 43 | 45 | 72 | 59 | 55 | 55 | 59  | 59  | 51  | 57 | 60 | 55 | 670 |
|      | H24 | 37 | 31 | 49 | 47 | 41 | 46 | 54  | 48  | 51  | 42 | 47 | 56 | 549 |

## (7)その他

表2-12 診断書等発行状況

(単位:件)

| 区分                  | H28 | H27 | H26 | H25 | H24 |
|---------------------|-----|-----|-----|-----|-----|
| 自立支援医療診断書           | 32  | 34  | 27  | 22  | 13  |
| 障害児福祉手当診断書          | 0   | 6   | 4   | 3   | 10  |
| 特別児童扶養手当診断書         | 47  | 31  | 39  | 29  | 20  |
| 心理検査結果報告書 ※1        | 14  | 8   | 33  | 10  | 22  |
| 傷病手当金意見書            | -   | -   | -   | -   | 15  |
| 健康診断書               | 5   | 4   | 2   | 2   | 4   |
| 障害年金診断書             | 22  | 19  | 9   | 11  | 6   |
| 一般診断書・意見書           | 197 | 160 | 121 | 91  | 126 |
| 精神障害者福祉手帳診断書 ※2     | 82  | 56  | 61  | 39  | -   |
| 身体障害者手帳診断書 ※3       | 0   | 4   | 5   | -   | -   |
| 障害者総合支援法による医師意見書 ※4 | 15  | 8   | 11  | -   | -   |
| 計                   | 414 | 330 | 312 | 207 | 216 |

※1 心理検査は診察にて結果説明を行っているが、必要に応じて文書を発行した。

※2 H25年度より区分項目に付け加えた。

※3、4 H26年度より区分項目に付け加えた。

表2-13 生理機能検査等の状況 (単位:件)

| 区分       | H28 | H27 | H26 | H25 | H24 |
|----------|-----|-----|-----|-----|-----|
| 聴力検査     | 376 | 327 | 306 | 350 | 398 |
| エックス線検査  | 221 | 229 | 232 | 200 | 202 |
| ABR・ASSR | 169 | 258 | 194 | 114 | 113 |
| 脳波検査     | 1   | 0   | 2   | 1   | 4   |
| 計        | 767 | 814 | 734 | 665 | 717 |

## 【診療業務の総括】

小児科・児童精神科の利用状況については、前年度途中から児童精神科非常勤医師1名が増員になったことにより、前年度同様総利用者数は増加した(表2-2参照)。しかし、年度途中で再診枠の確保が困難となったため、随時非常勤医師の勤務日数を増やし対応せざるを得なくなった。

また診察における相談内容としては、従来の幼児期～青年期までの発達相談に加え、特別支援教室利用者の中学卒業後の進路選択の際に、特別支援学校以外の進路を選択するケースの相談が増えている。想定される進路の方向性のバリエーションが広がってきており、現状の中でどういった進路を見極めるのかといった点で、今まで以上に個々のケースに応じたより細やかな姿勢が求められていると実感した。

心理検査・心理面接の利用者数も総利用者数の変化に付随して、増加した。前年度の職員の増員により、虐待的関わりのある家庭への支援や、SSTグループ参加後の個別のフォローアップ等、集中的なケアが必要なケースに対応可能となる枠も増加した。こうしたケースでは当センター内外の他領域、多職種との連携がより必要となるが、今後よりよい連携のあり方について、具体的方法を検討していくことが課題と捉えている。

耳鼻いんこう科は前年度から診察枠を増やしたため予約が入りやすくなり、平成28年度の待機期間は1カ月以内であり、適時に診察が受けられるようになった。

整形外科は、新患者数は前年度と同じ水準であったが、継続して受診が必要な患者が多く、利用者数は増加している。そのため予約が入りにくい状態が続き、前年度から開始した装具作製のための予約枠での対応では足りず、装具作製に2カ月近くかかることもあった。来年度は医師の交代もあり、運用の仕方について検討し改善に努めたい。

歯科は、障害児歯科診療を行っており、豊橋市歯科医師会から歯科医師、歯科衛生士を派遣していただき対応した。平成27年度に比べ延べ患者数で72人(H27:803人→H28:731人)、1日当たり平均で0.1人(H27:15.7人→H28:15.6人)の減であった。

当センター内での業務連携については、通園事業のつつじ教室においては、前年度同様、医師・臨床心理士共に未就園の時期に必要な保護者向け研修を実施した。現在は、言葉・生活・社会的対人関係・親子関係をテーマに実施しているが、さまざまな領域において未就園児の適応の困難さがあらわれることを考慮すると、今後も内容の充実を図る必要性を感じている。療育支援事業では、巡回相談や研修などの事業を相談部門と連携しながら進めた。リハビリテーション業務においては、前年度同様ケース検討会議、多職種グループへの参加を通して、リハビリテーション部門とミーティングを重ね、協力的に支援を実施した。

以上のとおり、利用者数の増加と、診療部門に求められる支援内容を考慮すると、今後一層地域の中での豊橋市こども発達センター診療部門といった観点から、どういった役割を担っていくべきか吟味していくことが課題と捉えている。

## 2 リハビリテーション業務

理学療法士(4名)、作業療法士(4名)、言語聴覚士(8名)によるリハビリテーションを行った(表2-14)。

表2-14 月別の利用状況 (単位:人)

| 区分   | 理学療法  | 作業療法  | 言語聴覚療法 | 延べ人数計  |
|------|-------|-------|--------|--------|
| 4月   | 202   | 321   | 582    | 1,105  |
| 5月   | 179   | 267   | 459    | 905    |
| 6月   | 212   | 308   | 561    | 1,081  |
| 7月   | 220   | 303   | 582    | 1,105  |
| 8月   | 184   | 287   | 545    | 1,016  |
| 9月   | 201   | 268   | 558    | 1,027  |
| 10月  | 228   | 274   | 577    | 1,079  |
| 11月  | 204   | 291   | 552    | 1,047  |
| 12月  | 192   | 291   | 509    | 992    |
| 1月   | 210   | 274   | 545    | 1,029  |
| 2月   | 192   | 298   | 545    | 1,035  |
| 3月   | 246   | 328   | 554    | 1,128  |
| H28計 | 2,470 | 3,510 | 6,569  | 12,549 |
| H27計 | 2,411 | 3,028 | 6,582  | 12,021 |
| H26計 | 2,405 | 2,583 | 6,212  | 11,200 |
| H25計 | 2,216 | 2,570 | 5,867  | 10,653 |
| H24計 | 2,027 | 3,215 | 5,834  | 11,076 |

### (1)理学療法

先天性や後天性の病気・事故などによる運動障害や運動発達がゆっくりな子どもに対して運動機能の改善を図る支援を行った(表2-15、2-16、2-17、2-18、2-19)。

障害児等療育支援事業への理学療法士参加件数は、市内小中学校3件、豊橋特別支援学校15件、市内児童発達支援センター(高山学園)6件であった。

肢体不自由児親子交流会を2回実施した他、保育士・幼稚園教諭を対象として行われた研修会を1件、放課後等デイサービス事業所事例検討会を3件担当した。

肢体不自由児を対象とした運動イベントを開催した他、作業療法士と共同でエクササイズグループを実施した。また、重症心身障害児通園事業(児童発達支援事業)、重症心身障害児(者)日中一時支援事業の専属職員として従事した。

表2-15 年齢別状況

(単位:人)

| 区分  | 就学前児童 |     |     |     |     |     | 小学生 |     | 中学生 | その他 | 計   |
|-----|-------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
|     | 0歳児   | 1歳児 | 2歳児 | 3歳児 | 4歳児 | 5歳児 | 低学年 | 高学年 |     |     |     |
| H28 | 4     | 9   | 10  | 6   | 4   | 12  | 43  | 40  | 26  | 37  | 191 |
| H27 | 8     | 9   | 8   | 6   | 12  | 14  | 42  | 32  | 25  | 33  | 189 |
| H26 | 7     | 8   | 7   | 12  | 10  | 9   | 41  | 30  | 21  | 21  | 166 |
| H25 | 6     | 7   | 9   | 12  | 11  | 12  | 39  | 22  | 22  | 17  | 157 |
| H24 | 5     | 9   | 12  | 15  | 8   | 8   | 31  | 19  | 17  | 14  | 138 |

表2-16 新患数の状況

(単位:人)

| 区分  | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 計  |
|-----|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|----|
| H28 | 5  | 3  | 3  | 1  | 0  | 3  | 3   | 2   | 1   | 2  | 1  | 4  | 28 |
| H27 | 14 | 5  | 0  | 3  | 4  | 2  | 3   | 4   | 1   | 3  | 3  | 7  | 49 |
| H26 | 4  | 2  | 4  | 3  | 2  | 2  | 5   | 1   | 1   | 3  | 2  | 4  | 33 |
| H25 | 5  | 12 | 2  | 2  | 4  | 3  | 3   | 0   | 3   | 5  | 2  | 4  | 45 |
| H24 | 6  | 7  | 3  | 2  | 3  | 1  | 4   | 2   | 1   | 5  | 4  | 4  | 42 |

表2-17 診断区分別状況

(単位:人)

| 診断区分      | H28 | H27 | H26 | H25 | H24 | 備考                  |
|-----------|-----|-----|-----|-----|-----|---------------------|
| 脳性麻痺      | 74  | 72  | 63  | 63  | 55  |                     |
| 運動発達遅滞    | 31  | 33  | 30  | 27  | 25  |                     |
| 染色体異常等    | 21  | 19  | 13  | 12  | 11  |                     |
| 二分脊椎      | 13  | 14  | 13  | 11  | 10  |                     |
| ダウン症候群    | 10  | 13  | 9   | 10  | 9   |                     |
| 骨・関節疾患    | 4   | 5   | 7   | 6   | 5   | 先天性多発性関節拘縮症・骨形成不全など |
| てんかん      | 3   | 5   | 5   | 5   | 3   |                     |
| 筋ジストロフィー  | 3   | 3   | 2   | 2   | 2   |                     |
| 脳挫傷       | 1   | 1   | 1   | 1   | 1   |                     |
| その他脳神経疾患  | 20  | 17  | 18  | 15  | 13  | 脳形成不全・低酸素脳症など       |
| その他先天性感染症 | 2   | 1   | 2   | 3   | 3   | 先天性サイトメガロウイルス感染症    |
| その他       | 9   | 6   | 3   | 2   | 1   | 腕神経叢損傷など            |
| 計         | 191 | 189 | 166 | 157 | 138 |                     |

表2-18 訓練終了の状況

(単位:人)

| 区分     | H28 | H27 | H26 | H25 | H24 |
|--------|-----|-----|-----|-----|-----|
| 他機関へ移行 | 14  | 10  | 10  | 7   | 14  |
| 経過良好   | 8   | 6   | 5   | 6   | 5   |
| その他    | 11  | 9   | 9   | 11  | 11  |
| 計      | 33  | 25  | 24  | 24  | 30  |

表2-19 通園・通学先の状況

(単位:人)

| 区分             | H28 | H27 | H26 | H25 | H24 |
|----------------|-----|-----|-----|-----|-----|
| 豊橋特別支援学校       | 88  | 87  | 78  | 74  | 63  |
| その他特別支援学校      | 8   | 5   | 2   | 1   | 1   |
| 保育園・幼稚園・認定こども園 | 22  | 22  | 17  | 25  | 19  |
| 療育機関           | 14  | 21  | 21  | 23  | 26  |
| 小学校 通常学級       | 4   | 6   | 5   | 3   | 2   |
| 小学校 特別支援学級     | 25  | 19  | 14  | 11  | 6   |
| 中学校 通常学級       | 1   | 0   | 0   | 0   | 0   |
| 中学校 特別支援学級     | 1   | 1   | 4   | 2   | 1   |
| その他            | 28  | 28  | 25  | 18  | 20  |
| 計              | 191 | 189 | 166 | 157 | 138 |

## (2) 作業療法

手先が不器用な子どもや、遊びが広がらず行動面に心配のある子どもに対して、遊びを通して運動・認知機能・社会性の発達を支援した(表2-20、2-21、2-22、2-23)。

センター内の外来グループ療育事業、重症心身障害児通園事業に関わった。

障害児等療育支援事業への参加件数は、市内保育園4件、市外保育園1件、市内小学校9件、市外小学校2件、豊橋特別支援学校1件、市内児童発達支援センター(高山学園)5件、放課後等デイサービス1件であった。

保健所こども保健課で実施している乳幼児健診事後教室に8回、他の事業所とセンター相談部が共同で開催している豊橋市保育園訪問療育に5回、放課後等デイサービス事業所事例検討会に4回参加した。

講演・研修関連では、当センター主催で保育士・幼稚園教諭対象に講演を行ったほか、くすのき特別支援学校からの依頼で現職者研修に1回、通級指導教室研究会研修に1回、くすのき特別支援学校からの依頼で市内保育・教育向けの出前講座に5回携わった。他の事業所から依頼のあった支援事業として保育士・指導員対象の講演会を4回行った。さらに、近隣の病院に勤務する作業療法士の研修を受け入れ、地域での小児の作業療法を行う病院・施設との連携を深めた。

夏休みには小学生対象に愛知県民の森でリハビリデイキャンプを実施した。

自助具は食事関連41個、更衣関連1個、学習関連2個、玩具3個を作製した。

表2-20 年齢別状況

(単位:人)

| 区分  | 就学前児童 |     |     |     |     |     | 小学生 |     | 中学生 | その他 | 計   |
|-----|-------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
|     | 0歳児   | 1歳児 | 2歳児 | 3歳児 | 4歳児 | 5歳児 | 低学年 | 高学年 |     |     |     |
| H28 | 1     | 7   | 24  | 40  | 51  | 68  | 131 | 62  | 14  | 4   | 402 |
| H27 | 0     | 8   | 21  | 34  | 62  | 58  | 128 | 54  | 11  | 4   | 380 |
| H26 | 1     | 4   | 18  | 40  | 46  | 58  | 116 | 39  | 6   | 5   | 333 |
| H25 | 2     | 9   | 20  | 32  | 55  | 49  | 134 | 36  | 7   | 4   | 348 |
| H24 | 1     | 15  | 18  | 45  | 44  | 62  | 114 | 36  | 8   | 1   | 344 |

表2-21 新患数の状況

(単位:人)

| 区分  | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 計   |
|-----|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|-----|
| H28 | 18 | 9  | 7  | 9  | 5  | 4  | 11  | 6   | 1   | 9  | 5  | 8  | 92  |
| H27 | 17 | 5  | 8  | 8  | 4  | 5  | 6   | 9   | 6   | 7  | 11 | 14 | 100 |
| H26 | 10 | 7  | 10 | 9  | 10 | 7  | 7   | 6   | 5   | 4  | 1  | 6  | 82  |
| H25 | 16 | 19 | 5  | 6  | 6  | 5  | 4   | 3   | 3   | 7  | 5  | 10 | 89  |
| H24 | 12 | 18 | 7  | 7  | 9  | 12 | 6   | 7   | 5   | 9  | 10 | 8  | 110 |

表2-22 診断区分別状況

(単位:人)

| 診断区分      | H28 | H27 | H26 | H25 | H24 |
|-----------|-----|-----|-----|-----|-----|
| 広汎性発達障害   | 206 | 196 | 168 | 178 | 189 |
| 脳性麻痺      | 42  | 42  | 43  | 49  | 43  |
| 運動発達遅滞    | 32  | 30  | 27  | 27  | 17  |
| ダウン症候群    | 29  | 27  | 19  | 21  | 22  |
| 発達性協調運動障害 | 16  | 10  | 5   | 5   | 4   |
| 知的障害      | 14  | 13  | 13  | 13  | 14  |
| てんかん      | 6   | 5   | 4   | 6   | 5   |
| 急性脳症後遺症   | 5   | 5   | 4   | 4   | 4   |
| 注意欠陥多動性障害 | 4   | 5   | 7   | 5   | 7   |
| 二分脊椎      | 3   | 2   | 5   | 2   | 4   |
| 学習障害      | 3   | 3   | 2   | 4   | 2   |
| 脳神経感染症    | 0   | 0   | 0   | 0   | 1   |
| 後天性外傷後遺症  | 0   | 1   | 0   | 0   | 1   |
| その他染色体異常  | 23  | 24  | 18  | 19  | 18  |
| その他の先天性奇形 | 13  | 11  | 12  | 12  | 10  |
| その他       | 6   | 6   | 6   | 3   | 3   |
| 計         | 402 | 380 | 333 | 348 | 344 |

表2-23 訓練終了の状況

(単位:人)

| 区分     | H28 | H27 | H26 | H25 | H24 |
|--------|-----|-----|-----|-----|-----|
| 経過良好   | 75  | 50  | 32  | 76  | 48  |
| 他機関へ移行 | 26  | 4   | 9   | 9   | 7   |
| 転居     | 6   | 0   | 2   | 4   | 2   |
| その他    | 11  | 16  | 12  | 6   | 18  |
| 計      | 118 | 70  | 55  | 95  | 75  |

### (3)言語聴覚療法

聴こえやことばの発達に心配がある子どもに対して、ことばやコミュニケーション・社会性の発達を促す支援を行った(表2-24、2-25、2-26、2-27)。また、必要に応じて心理検査を行った(表2-28)。さらに、センター内の療育(外来グループ療育事業・重症心身障害児通園事業)に参加した。

相談部門の面接相談には73回関わり、ことばの発達の遅れ、発音の不明瞭さ、吃音などについての相談に応じ、必要な場合は診療への橋渡しを行った。相談件数は、昨年度よりも10回以上増え、毎年増加してきている。

障害児等療育支援事業への参加では、個々の子どもたちへの対応について話し合ったものが保育園7件、幼稚園4件、認定こども園2件、小学校3件、放課後等デイサービス事業所1件、市内児童発達支援センター(高山学園)は5件(内1件では事例検討)であった。こども発達センター主催の幼稚園教諭・保育士を主な対象とした研修会を他の職種とともに担当し、市教育委員会実施の通級指導教室担当職員を対象として研修会も担当した。また、放課後等デイサービス事業所の職員を対象としたケース検討会に3回参加した。さらに他の事業所が実施している支援事業で市外の学校への訪問を行い、他の事業所とセンター相談部が協働で開催している市内保育園訪問療育に10回(延べ12名)参加した。また、こども保健課で実施している健診事後教室に参加した(8回)。

表2-24 年齢別状況

(単位:人)

| 区分  | 就学前児童 |     |     |     |     |     | 小学生 |     | 中学生 | その他 | 計   |
|-----|-------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
|     | 0歳児   | 1歳児 | 2歳児 | 3歳児 | 4歳児 | 5歳児 | 低学年 | 高学年 |     |     |     |
| H28 | 0     | 10  | 54  | 85  | 155 | 156 | 222 | 75  | 22  | 4   | 783 |
| H27 | 0     | 7   | 44  | 105 | 131 | 126 | 226 | 61  | 17  | 3   | 720 |
| H26 | 0     | 8   | 50  | 93  | 109 | 113 | 203 | 51  | 8   | 2   | 637 |
| H25 | 0     | 16  | 74  | 95  | 107 | 118 | 239 | 60  | 10  | 2   | 721 |
| H24 | 0     | 11  | 58  | 81  | 105 | 131 | 245 | 72  | 10  | 0   | 713 |

表2-25 新患数の状況

(単位:人)

| 区分  | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 計   |
|-----|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|-----|
| H28 | 22 | 18 | 18 | 23 | 10 | 18 | 17  | 17  | 13  | 14 | 17 | 20 | 207 |
| H27 | 31 | 22 | 17 | 16 | 11 | 22 | 20  | 19  | 21  | 10 | 23 | 23 | 235 |
| H26 | 19 | 11 | 12 | 22 | 6  | 8  | 7   | 14  | 6   | 9  | 11 | 17 | 142 |
| H25 | 38 | 31 | 16 | 22 | 10 | 14 | 19  | 15  | 13  | 9  | 18 | 13 | 218 |
| H24 | 20 | 22 | 18 | 17 | 11 | 13 | 13  | 19  | 14  | 11 | 17 | 23 | 198 |

表2-26 診断区分別状況

(単位:人)

| 診断区分        | H28 | H27 | H26 | H25 | H24 | 備 考                |
|-------------|-----|-----|-----|-----|-----|--------------------|
| 広汎性発達障害     | 418 | 405 | 395 | 453 | 436 |                    |
| 発達性構音障害     | 79  | 56  | 46  | 47  | 32  |                    |
| 言語発達遅滞      | 60  | 54  | 34  | 36  | 71  |                    |
| 知的障害        | 44  | 39  | 29  | 27  | 28  |                    |
| ダウン症候群      | 43  | 36  | 28  | 34  | 33  |                    |
| 脳性麻痺        | 25  | 29  | 18  | 23  | 24  |                    |
| 吃音          | 24  | 11  | 13  | 14  | 18  |                    |
| 先天性奇形       | 11  | 14  | 17  | 15  | 12  |                    |
| 注意欠陥多動性障害   | 10  | 7   | 6   | 4   | 10  |                    |
| 表出性/受容性言語障害 | 8   | 6   | 5   | 6   | 3   |                    |
| 口蓋裂         | 6   | 3   | 2   | 7   | 3   |                    |
| 難聴          | 3   | 1   | 2   | 3   | 5   |                    |
| その他の染色体異常   | 31  | 27  | 20  | 23  | 16  |                    |
| その他         | 21  | 32  | 22  | 29  | 22  | 筋ジストロフィー・急性脳症後遺症など |
| 計           | 783 | 720 | 637 | 721 | 713 |                    |

表2-27 訓練終了の状況

(単位:人)

| 区分     | H28 | H27 | H26 | H25 | H24 |
|--------|-----|-----|-----|-----|-----|
| 経過良好   | 117 | 99  | 70  | 137 | 149 |
| 他機関へ移行 | 46  | 8   | 11  | 17  | 13  |
| 転居     | 13  | 5   | 8   | 7   | 3   |
| その他    | 71  | 38  | 43  | 64  | 47  |
| 計      | 247 | 150 | 132 | 225 | 212 |

表2-28 心理検査実施状況

(単位:人)

| 検査名    | H28 | H27 | H26 | H25 | H24 |
|--------|-----|-----|-----|-----|-----|
| 新版K式   | 6   | 7   | 9   | 13  | 12  |
| WISC-Ⅲ | -   | -   | -   | -   | 1   |
| WISC-Ⅳ | -   | -   | -   | 1   | -   |
| K-ABC  | -   | -   | -   | -   | 1   |
| ITPA   | -   | -   | 1   | -   | 1   |
| 計      | 6   | 7   | 10  | 14  | 15  |

## 【リハビリテーション業務の総括】

理学療法部門では、昨年度と比較し利用件数はほぼ同一となっている。これまでと同様に利用者の約半数が豊橋特別支援学校に通学する児童・生徒である一方で、地域の学校に通学する児童・生徒の割合が増える傾向がみられる。こういった状況も踏まえ、今後は地域の学校に通学をする肢体不自由児に対する支援についても検討をしていきたいと考えている。本地域の肢体不自由児教育の中心である豊橋特別支援学校との一層の連携強化や、肢体不自由児の保護者の交流会などの事業を継続する中で、地域の情報収集にも努め、子どもたちの生活を支援していきたいと考えている。

作業療法部門は、利用者の総人数が増加していくなかで、就学児への支援の必要性を感じ教育現場との連携体制づくりに努めている。夏休みには恒例となったりリハビリデイキャンプをセンター内の他職種（言語聴覚士・保育士）と共に実施した。また、今年度は新たな取り組みとして理学療法士・保育士と協働でエクササイズグループを開始した。発達障害・身体障害から起因する運動の苦手さや偏食・過食に対して、栄養指導と定期的な運動活動を通して肥満改善と保護者の意識改革にアプローチした。運動量の増加や意識変化といった結果が得られ、継続的支援の必要性和有効性を感じたため、次年度も取り組みを継続していく。

今後も地域の保育・教育分野との協力を深め、幅広い分野での発達支援に努めていきたいと考えている。

言語聴覚療法部門では、言語聴覚療法の新規開始者が200名以上で、昨年度よりは少ないものの年間の利用者数は昨年度に比べて増えている。今年度は、経過良好や他機関への移行などのため終了したケースも増えているが、年度末の対象人数は昨年度末よりも増加している。診療部門での内容としては、個別訓練以外に他職種の職員（臨床心理士・作業療法士）と行う年長児の就学前グループの訓練を実施した。この就学前グループ訓練は、平成23年度から継続して実施しており、今後も継続したいと考えている。また、今年度は言語聴覚士だけで行う少人数のグループ訓練も実施した。小グループを経験することにより、就学を楽しみにする姿も見られた。

診療部門以外の業務として、障害児等療育支援事業で保育園・幼稚園・学校に出向いた。子どもたちが地域で安心して生活していく助けになればと考えている。また、面接相談のケースが増えている。診療への橋渡しや受診までの関わり方への助言、受診には至らないが子どもの発達に心配を感じている保護者の相談に応じ、保護者の不安解消につながればと思っている。今後もこれらの事業を通じて、子どもたちと関わる人たちとのつながりを強めていきたいと考えている。

また、今年度は言語聴覚士の養成大学からの実習生を2名受け入れた（それぞれ10週間）。子どもを対象とした診療機関としての役割の一つとして考えている。

### 第3 通園事業部門

#### 1 外来グループ療育事業 (親子通園) つつじ教室「ひまわり組・すみれ組・ばら組」

##### (1)目的

未就園または幼稚園、保育園に入所している概ね3歳までの発達が心配な児に対し、親子通園のもと、保護者への育児支援を図りながら、日常生活における基本的動作の成長、発達を促すとともに、その育成、助長を図る。

##### (2)定員 120人

- 火・木グループ ひまわり組、すみれ組、ばら組 各15人 計45人
- 水・金グループ ひまわり組、すみれ組、ばら組 各15人 計45人
- 火・木グループ ばら組(午後) 計15人
- 水・金グループ ばら組(午後) 計15人

表3-1 入園までの経緯

(単位:人)

| 紹介者   | 紹介機関            | 職種等   | H28 | H27 | H26 | H25 | H24 |
|-------|-----------------|-------|-----|-----|-----|-----|-----|
| あり    | こども保健課          | 保健師   | 153 | 120 | 124 | 90  | 76  |
|       | こども発達センター診療部    | 医師    | 15  | 9   | 20  | 31  | 27  |
|       |                 | 言語聴覚士 | 2   | 0   | 2   | 2   | 0   |
|       |                 | 作業療法士 | 0   | 0   | 0   | 0   | 2   |
|       | こども発達センター相談部    |       | 11  | 22  | 11  | 1   | 0   |
|       | 豊橋市民病院          | 医師    | 2   | 1   | 1   | 2   | 0   |
|       |                 | 言語聴覚士 | 0   | 1   | 0   | 2   | 2   |
|       |                 | 作業療法士 | 0   | 0   | 0   | 3   | 0   |
|       | 他医療機関(耳鼻科)      | 言語聴覚士 | 0   | 0   | 0   | 2   | 3   |
|       | 東三河児童・障害者相談センター |       | 1   | 1   | 0   | 0   | 0   |
|       | 愛知県立豊橋聾学校       |       | 0   | 1   | 0   | 0   | 0   |
|       | 保育園             | 保育士   | 3   | 8   | 3   | 2   | 4   |
|       | 幼稚園             | 教諭    | 1   | 1   | 1   | 0   | 0   |
|       | 岩崎学園            | 心理士   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   |
|       | くすのき学園          | 保育士   | 0   | 0   | 0   | 0   | 1   |
| あゆみ学園 |                 | 0     | 0   | 1   | 0   | 0   |     |
| 小 計   |                 |       | 188 | 164 | 163 | 135 | 115 |
| なし    |                 |       | 0   | 4   | 9   | 4   | 2   |
| 合 計   |                 |       | 188 | 168 | 172 | 139 | 117 |

H29.3.31現在(在籍 136人)

### (3) 基本理念

児童は人として重んぜられ、家庭の中、社会の中で育てられるとともに、その子らのニーズに基づき権利が守られる。そして、年齢や全体能力、発達段階に応じて専門的支援により、可能な限り成長、発達が図られる。児童のみならず保護者への支援も重要となる。

### (4) 運営方針

地域のニーズを的確に捉え、成長、発達の心配な児童に親子通園を通して適切な援助を提供し、一人ひとりの発達の促進を目指す。

また、保護者のよき理解者として専門的な立場からの援助提供に努める。

### (5) 療育計画

#### ① 療育目標

- 楽しい雰囲気の中で、遊びを通してより良い親子関係をつくるようにする。
- 親子での関わりを楽しみながら、社会性の芽生えを促すようにする。
- 保護者向け講習等で子どもの発達をともに考え、子育てについての支援を行う。

#### ② 活動及び日課

9:30 ～ (13:30 ～ )

始まりの会(スケジュール表確認)

散歩

ふれあいあそび

今日の活動

帰りの会

#### ③ 活動のねらいと内容

- 戸外あそび・散歩  
保護者と手をつないで「ほいっふ」周辺を散歩したり、子どもたちの目的に合わせて中庭や広場で遊ぶなど経験を重ねる中で、楽しみながら体力づくりをする。
- ふれあいあそび  
手遊び、歌遊びなどいろいろな親子でのあそびを経験する。
- 運動あそび  
トランポリン、平均台、マット、跳び箱など運動器具を知り、徐々に使うことに慣れ、運動機能の発達を促す。また、順番やルールを守って遊ぶことを身につけるようにする。
- 感覚あそび  
色々な素材に触れたり、遊んだりしながら楽しさを味わう。
- 交流保育(長栄保育園)
  - ・普段と違う環境に慣れるようにする。
  - ・親子で保育園の雰囲気を味わったり、大きな集団を見たり感じたりする。
  - ・保育園の遊具等に親しみ、簡単なルールや決まりに関心を持つようにする。
- 園外療育(高師緑地公園)  
園外に行くことで園内では体験できないことを親子で体験し、遊びの幅を広げていく。

## (6)保護者支援

保護者との連携を密にし、子どもの発達をともに考え、子育てについての支援を行い、子どもへの理解を深める。

療育時間中は託児を実施している。

保護者の学習会を行う(表3-2)。

表3-2 保護者向け講習 実績

| 月  | 日              | 内 容                        | 講 師                             |
|----|----------------|----------------------------|---------------------------------|
| 6  | 9(木)<br>10(金)  | 「つつじ教室に通う」という事の意味を考える      | 豊橋市こども発達センター<br>センター長 小児科医師     |
| 7  | 5(火)<br>6(水)   | ことばの話 ①                    | 豊橋市こども発達センター<br>児童精神科医師         |
| 8  | 2(火)<br>3(水)   | ことばの話 ②                    | 豊橋市こども発達センター<br>児童精神科医師         |
|    | 25(木)<br>26(金) | 就園について                     | 豊橋市役所<br>保育課                    |
| 9  | 7(水)<br>8(木)   | 訪問療育<br>就園を迎えるにあたって        | 発達・就労相談支援センターFLAT<br>発達障害支援ワーカー |
| 10 | 4(火)<br>5(水)   | 子どもの発達と関わりについて<br>～生活技能編～  | 豊橋市こども発達センター<br>児童精神科医師         |
| 11 | 8(木)<br>9(金)   | 子どもの発達と関わりについて<br>～対人関係編～  | 豊橋市こども発達センター<br>児童精神科医師         |
| 12 | 15(木)<br>16(金) | ことば「コミュニケーションへの第一歩」        | 豊橋市こども発達センター<br>言語聴覚士           |
| 1  | 19(木)<br>20(金) | 作業療法とは                     | 豊橋市こども発達センター<br>作業療法士           |
| 2  | 9(木)<br>10(金)  | 子どもの気持ちを考える                | 豊橋市こども発達センター<br>臨床心理士           |
| 3  | 2(木)<br>3(金)   | 子どもの発達について<br>～次のステップの心構え～ | 豊橋市こども発達センター<br>センター長 小児科医師     |

(7)活動実績など

表3-3 利用実績

(単位:人)

| 区分  | 4歳児 |    | 3歳児 |     | 2歳児 |     | 1歳児 |   | 当月末在籍児童数 |     | 計     |
|-----|-----|----|-----|-----|-----|-----|-----|---|----------|-----|-------|
|     | 男   | 女  | 男   | 女   | 男   | 女   | 男   | 女 | 男        | 女   |       |
| 4月  | 0   | 0  | 15  | 8   | 40  | 19  | 1   | 0 | 56       | 27  | 83    |
| 5月  | 1   | 0  | 19  | 9   | 34  | 18  | 1   | 0 | 55       | 27  | 82    |
| 6月  | 3   | 1  | 18  | 10  | 37  | 20  | 1   | 0 | 59       | 31  | 90    |
| 7月  | 5   | 1  | 27  | 11  | 33  | 19  | 0   | 0 | 65       | 31  | 96    |
| 8月  | 9   | 2  | 34  | 18  | 43  | 19  | 0   | 0 | 86       | 39  | 125   |
| 9月  | 10  | 5  | 39  | 18  | 38  | 18  | 0   | 0 | 87       | 41  | 128   |
| 10月 | 10  | 5  | 45  | 19  | 37  | 14  | 0   | 0 | 92       | 38  | 130   |
| 11月 | 10  | 7  | 46  | 22  | 39  | 13  | 0   | 0 | 95       | 42  | 137   |
| 12月 | 11  | 7  | 57  | 22  | 33  | 12  | 0   | 0 | 101      | 41  | 142   |
| 1月  | 11  | 9  | 59  | 24  | 25  | 10  | 0   | 0 | 95       | 43  | 138   |
| 2月  | 13  | 9  | 65  | 26  | 20  | 10  | 0   | 0 | 98       | 45  | 143   |
| 3月  | 13  | 9  | 63  | 26  | 20  | 11  | 0   | 0 | 96       | 46  | 142   |
| H28 | 96  | 55 | 487 | 213 | 399 | 183 | 3   | 0 | 985      | 451 | 1,436 |
| H27 | 23  | 8  | 506 | 120 | 456 | 116 | 0   | 0 | 985      | 244 | 1,229 |
| H26 | 41  | 0  | 547 | 91  | 362 | 112 | 0   | 0 | 950      | 203 | 1,153 |
| H25 | 35  | 28 | 425 | 149 | 330 | 114 | 2   | 0 | 792      | 291 | 1,083 |
| H24 | 20  | 23 | 433 | 133 | 360 | 160 | 0   | 0 | 813      | 316 | 1,129 |

表3-4 受診状況

| 区分     | 小児科  |      |      |      |      | 児童精神科 |      |      |      |      |
|--------|------|------|------|------|------|-------|------|------|------|------|
|        | H28  | H27  | H26  | H25  | H24  | H28   | H27  | H26  | H25  | H24  |
| 人数(人)  | 48   | 34   | 38   | 26   | 45   | 46    | 25   | 41   | 20   | 28   |
| 受診率(%) | 25.5 | 20.2 | 22.1 | 18.7 | 38.5 | 24.5  | 14.9 | 23.8 | 14.4 | 23.9 |

・重複あり。総数はH28:188人、H27:168人、H26:172人、H25:139人、H24:117人

表3-5 リハビリテーション療法件数

| 区分    | 理学療法 |     |     |     |     | 作業療法 |     |     |     |     | 言語聴覚療法 |      |      |      |      |
|-------|------|-----|-----|-----|-----|------|-----|-----|-----|-----|--------|------|------|------|------|
|       | H28  | H27 | H26 | H25 | H24 | H28  | H27 | H26 | H25 | H24 | H28    | H27  | H26  | H25  | H24  |
| 人数(人) | 1    | 1   | 0   | 2   | 2   | 11   | 14  | 11  | 11  | 6   | 46     | 38   | 34   | 39   | 23   |
| 割合(%) | 0.5  | 0.6 | 0.0 | 1.4 | 1.7 | 5.9  | 8.3 | 6.4 | 7.9 | 5.1 | 24.5   | 22.6 | 19.8 | 28.1 | 19.7 |

・重複あり。総数はH28:188人、H27:168人、H26:172人、H25:139人、H24:117人

通園事業(つつじ教室)には、医療部門から児童精神科の医師をはじめ、臨床心理士、作業療法士、言語聴覚士等が定期的に日常の療育に参加し、児の観察や助言などを行っている。必要な保護者には、その都度、具体的なアドバイスや指導を受ける機会となり、子育てに向き合える場となっている。その中で、診療科の受診やリハビリを受けることにつながるケースもあり、連携がスムーズに行われるようになってきた。

表3-6 年間行事

| 月  | 日(曜日)        | 内 容             |
|----|--------------|-----------------|
| 4  | 7・8(木・金)     | 療育始め            |
| 5  | 12・13(木・金)   | 園外療育(高師緑地公園)    |
| 6  | 9・10(木・金)    | 保護者向け講習         |
| 7  | 5・6(火・水)     | 保護者向け講習         |
| 8  | 2・3(火・水)     | 保護者向け講習         |
|    | 9(火)~17(水)   | 夏休み             |
|    | 25・26(木・金)   | 保護者向け講習         |
| 9  | 7・8・(水・木)    | 保護者向け講習         |
|    | 30(金)        | 園外療育(豊橋総合動植物公園) |
| 10 | 4・5(火・水)     | 保護者向け講習         |
|    | 20・21(木・金)   | 交流保育(長栄保育園)     |
|    | 25・26(火・水)   | 保育園入所希望者面接      |
| 11 | 8・9(火・水)     | 保護者向け講習         |
|    | 17・18(木・金)   | 交流保育(長栄保育園)     |
| 12 | 8(木)         | 善意銀行サンタクロース訪問   |
|    | 22(木)~1/6(金) | 冬休み             |
| 1  | 19・20(木・金)   | 保護者向け講習         |
| 2  | 9・10(木・金)    | 保護者向け講習         |
| 3  | 2・3(木・金)     | 保護者向け講習         |
|    | 14・15(火・水)   | 療育納め            |
|    |              | 春休み             |
|    | 3カ月に1回       | 安全の日(避難訓練)      |
|    | 毎月1回         | おやつの日           |

## (1)目的

親子通園経験のある在宅の重症心身障害児を対象に、単独通園を行なうことで対人関係やコミュニケーションなど社会性の向上に向けた療育を提供する。また、日常生活動作や運動機能などの訓練や指導を行い、保護者に対しても家庭における療育技術を伝達する。スタッフは保育士・看護師・理学療法士が主にに関わり、その他、医師・作業療法士・言語聴覚士も随時関わる。

(2)定員 5名／日(重症心身障害児:主に年長・年中の就学前の児)

## (3)基本理念

児童は人として重んぜられ、家庭の中、社会の中で育てられるとともに、その子らのニーズに基づき権利が守られる。そして、年齢や全体能力、発達段階に応じて、専門的支援により可能な限り、成長・発達が図られる。児童のみならず保護者への支援も重要となる。

## (4)運営方針

地域との結びつきを重視し、東三河児童・障害者相談センター、関係市町、居宅支援事業者、地域の保健・医療・福祉サービスなどとの連携を図り、総合的なサービスの提供に努める。また、重症心身障害児に対し日常生活動作、運動機能等に係る訓練、指導等必要な療育を行い、その発達を促す。

## (5)療育計画

## ①療育目標

- いろいろな活動を通して、友だちと一緒にいることを楽しめるようにする。
- 母子分離の経験をしながら、誰からの介助でも快く受けられるようにする。
- 保護者が子どもを理解し、子どものより良い育ちを援助できるようになる。

## ②活動及び日課

| 時間    | 活動         |
|-------|------------|
| 9:30  | 登園 散歩      |
| 10:00 | 朝の会 ふれあい体操 |
| 10:40 | クラス活動      |
| 11:20 | 食事準備 お口の体操 |
| 11:30 | 食事 歯磨き     |
| 12:40 | 休息         |
| 13:10 | リハビリ 個別あそび |
| 14:10 | クラス活動      |
| 14:40 | おやつ        |
| 15:00 | 帰りの会       |
| 15:30 | 降園         |

### ③活動のねらいと内容

- 基本的な生活習慣(食事)  
食の幅(味、調理形態等)を広げ、咀嚼する力をつける。また、自分のもつ機能を十分生かして、安全に美味しく楽しく食べる。
- 外気浴、散歩  
自然に触れることで、豊かな情操心を育てる。
- 音楽あそび  
手あそび、歌あそび、楽器あそびなどいろいろな音楽を経験をする。
- 運動あそび  
姿勢を保つ、姿勢を保ったままで手や足を動かす、姿勢を変える、移動するなど、体を動かす力を育てる。
- 感覚・造形あそび  
色々な素材に触れたり遊んだりする中で情緒の安定を図るとともに楽しさを味わう。

### ④行事(保護者参加)

- 園外保育  
園内では体験できないことを、いろいろな場所へ親子でいき、社会性を広げる。
- 療育参観  
子どもの療育中の様子を見ていただき、子ども理解と成長発達をともに見守り考えていく。  
時期 — 4月、6月、8月、10月
- ゆり組講座  
保護者に対して様々な専門職から、家庭での子育てをする上で知っておいてほしい知識を伝える。また、保護者同士の交流の機会ともなる。  
時期 — 5月、9月、1月

### ⑤家庭訪問

家庭環境を知り、療育や日常に活かせるような支援をする。

### ⑥個人懇談

保護者の想いを知る機会とし、個別支援計画に反映させていく。

### ⑦慣らし療育(新入園児)

療育内容や流れを知ってもらい、新しい環境の場を親子で経験し、不安なく単独通園へ繋げられるようにする。また、親、子、職員がお互い共感し分かりあえる関係づくりができるようにする。

### ⑧リハビリテーション(理学療法、作業療法、言語聴覚療法)

毎日の療育の中に理学療法士も参加し、他の療育スタッフと協力して、こどもの様々な発達を促すためのプログラム作り、姿勢のケア、食事場面への介入などを行う。作業療法士、言語聴覚士もそれぞれの専門的な視点から、クラス活動や食事などについてのアドバイスをを行う。また、各通園児に対して、個別のリハビリテーションを行う。

## ⑨看護

児の健康管理と生活リズム作りの援助、医療的ケアを行いながら療育に参加する。

### ○ 身体測定

身長と体重を毎月測定する。

### ○ 健康診断

年1回行う。

### ○ 健康相談

食事・睡眠・排泄、服薬等、日常生活における心配事や困りごとの相談に応じる。

### ○ 医療的ケア

必要な医療的ケア(人工呼吸器の管理、吸引、経管栄養等)を提供する。

## (6)家庭訪問療育「ゆりっこ」

常時人工呼吸器を使用しているなどの理由で外出が困難な豊橋市内在住の重症心身障害児に対して、保育士等が自宅を訪問して療育を提供するサービスを平成26年度から実施している。

### ①療育目標

○ 色々な遊びを通して、より子どもらしい経験ができるようにする。

○ 保護者と子どもと一緒に楽しんで遊ぶ経験を増やす。

○ 季節の変化を楽しみ、在宅生活をより豊かなものにする。

### ②活動内容

音楽遊び、運動遊び、感覚・造形遊びなど通園事業の療育に準ずる。

### ③訪問回数

1～2回/月、1回1時間程度

## (7)活動実績など

### ①児童発達支援事業

表3-7 地域別 (単位:人)

| 区分   | 豊橋市 | 豊川市 | 田原市 | 蒲郡市 | 計 |
|------|-----|-----|-----|-----|---|
| 3歳児  | 2   | 0   | 0   | 0   | 2 |
| 4歳児  | 1   | 0   | 0   | 0   | 1 |
| 5歳児  | 1   | 0   | 0   | 0   | 1 |
| H28計 | 4   | 0   | 0   | 0   | 4 |
| H27計 | 2   | 0   | 0   | 0   | 2 |
| H26計 | 3   | 0   | 0   | 0   | 3 |
| H25計 | 2   | 0   | 0   | 0   | 2 |
| H24計 | 3   | 1   | 0   | 0   | 4 |

表3-8 年齢別・男女別

(単位:人)

| 区分   | 男 | 女 | H28計 | H27計 | H26計 | H25計 | H24計 |
|------|---|---|------|------|------|------|------|
| 1歳児  | 0 | 0 | 0    | 0    | 1    | 0    | 0    |
| 2歳児  | 0 | 0 | 0    | 1    | 0    | 0    | 0    |
| 3歳児  | 0 | 2 | 2    | 0    | 0    | 0    | 0    |
| 4歳児  | 1 | 0 | 1    | 0    | 1    | 1    | 1    |
| 5歳児  | 0 | 1 | 1    | 1    | 1    | 1    | 3    |
| H28計 | 1 | 3 | 4    |      |      |      |      |
| H27計 | 1 | 1 |      | 2    |      |      |      |
| H26計 | 2 | 1 |      |      | 3    |      |      |
| H25計 | 1 | 1 |      |      |      | 2    |      |
| H24計 | 3 | 1 |      |      |      |      | 4    |

表3-9 医療的ケア

(単位:人)

| 区分   | なし | 人工呼吸器 | 吸引 | 経管栄養(経鼻) | 経管栄養(胃ろう) | 気管切開 | 導尿 | 酸素療法 |
|------|----|-------|----|----------|-----------|------|----|------|
| 3歳児  | 2  | 0     | 0  | 0        | 0         | 0    | 0  | 0    |
| 4歳児  | 0  | 1     | 1  | 1        | 0         | 1    | 0  | 1    |
| 5歳児  | 0  | 1     | 1  | 1        | 0         | 1    | 0  | 1    |
| H28計 | 2  | 2     | 2  | 2        | 0         | 2    | 0  | 2    |
| H27計 | 1  | 0     | 1  | 0        | 0         | 1    | 0  | 0    |
| H26計 | 0  | 0     | 2  | 1        | 1         | 1    | 0  | 0    |
| H25計 | 0  | 0     | 2  | 1        | 1         | 1    | 0  | 0    |
| H24計 | 3  | 0     | 1  | 1        | 0         | 0    | 0  | 0    |

・重複ケアあり

表3-10 食事形態

(単位:人)

| 区分   | 経管栄養 | 経口摂取 |     |     |      |    | 経口・経管<br>の両方 |
|------|------|------|-----|-----|------|----|--------------|
|      |      | 初期食  | 中期食 | 後期食 | キザミ食 | 常食 |              |
| 2歳児  | 0    | 0    | 0   | 0   | 0    | 0  | 0            |
| 3歳児  | 0    | 1    | 0   | 0   | 1    | 0  | 0            |
| 4歳児  | 1    | 0    | 0   | 0   | 0    | 0  | 0            |
| 5歳児  | 1    | 0    | 0   | 0   | 0    | 0  | 0            |
| H28計 | 2    | 1    | 0   | 0   | 1    | 0  | 0            |
| H27計 | 0    | 1    | 1   | 0   | 0    | 0  | 0            |
| H26計 | 1    | 1    | 0   | 1   | 0    | 0  | 1            |
| H25計 | 2    | 0    | 0   | 0   | 0    | 0  | 0            |
| H24計 | 1    | 0    | 1   | 0   | 2    | 0  | 0            |

表3-11 運動機能(床上座位保持)(単位:人)

| 区分   | 不可能 | 可能 | 計 |
|------|-----|----|---|
| 2歳児  | 0   | 0  | 0 |
| 3歳児  | 2   | 0  | 2 |
| 4歳児  | 1   | 0  | 1 |
| 5歳児  | 1   | 0  | 1 |
| H28計 | 4   | 0  | 4 |
| H27計 | 2   | 0  | 2 |
| H26計 | 3   | 0  | 3 |
| H25計 | 2   | 0  | 2 |
| H24計 | 3   | 1  | 4 |

表3-12 身体障害者手帳・療育手帳

(単位:人)

| 区分   | 1級A判定 | 2級A判定 | 3級A判定 | 1級のみ | 計 |
|------|-------|-------|-------|------|---|
| 2歳児  | 0     | 0     | 0     | 0    | 0 |
| 3歳児  | 2     | 0     | 0     | 0    | 2 |
| 4歳児  | 1     | 0     | 0     | 0    | 1 |
| 5歳児  | 1     | 0     | 0     | 0    | 1 |
| H28計 | 4     | 0     | 0     | 0    | 4 |
| H27計 | 2     | 0     | 0     | 0    | 2 |
| H26計 | 3     | 0     | 0     | 0    | 3 |
| H25計 | 2     | 0     | 0     | 0    | 2 |
| H24計 | 4     | 0     | 0     | 0    | 4 |

②家庭訪問療育

表3-13 年齢別・男女別 (単位:人)

| 区分   | 男 | 女 | H28計 | H27計 | H26計 |
|------|---|---|------|------|------|
| 1歳児  | 1 | 0 | 1    | 2    | 0    |
| 2歳児  | 0 | 1 | 1    | 0    | 2    |
| 3歳児  | 0 | 0 | 0    | 1    | 1    |
| 4歳児  | 0 | 1 | 1    | 0    | 0    |
| H28計 | 1 | 2 | 3    |      |      |
| H27計 | 0 | 3 |      | 3    |      |
| H26計 | 1 | 2 |      |      | 3    |

表3-14 医療的ケア (単位:人)

| 区分   | 人工呼吸器 | 吸引 | 経管栄養(経鼻) | 経管栄養(胃ろう) | 気管切開 | 導尿 | 酸素療法 |
|------|-------|----|----------|-----------|------|----|------|
| 1歳児  | 1     | 1  | 0        | 1         | 1    | 0  | 0    |
| 2歳児  | 0     | 1  | 0        | 1         | 1    | 0  | 0    |
| 3歳児  | 0     | 0  | 0        | 0         | 0    | 0  | 0    |
| 4歳児  | 1     | 1  | 0        | 1         | 1    | 1  | 0    |
| H28計 | 2     | 3  | 0        | 3         | 3    | 1  | 0    |
| H27計 | 2     | 3  | 1        | 2         | 2    | 1  | 0    |
| H26計 | 3     | 2  | 1        | 1         | 2    | 1  | 0    |

・重複ケアあり

### 3 重症心身障害児(者)日中一時支援事業

つつじ教室「ゆり組」

#### (1)目的

家族の病気や事故、学校行事等への参加、休養等の理由で、在宅介護が困難になった場合に、児(者)を一時的に預かり、家族への支援を行う。あわせて、日中における活動の場を提供する。スタッフは、看護師・理学療法士・保育士の3職種が関わる。

- ・看護師－利用児(者)の健康管理を行い、主に常時介護や医療的ケアを提供する。
  - ・保育士－1日が楽しく過ごせるように、活動内容を計画する。
  - ・理学療法士－1日の活動場面に合わせて、適した姿勢管理を行い、楽しく活動に参加できるように関わる。
- また、食事の場面への介入も行い、安全に楽しく食事が出来るように関わる。

#### (2)定員 2名/日

対象は、原則として身障者手帳1級、療育手帳A判定又はB判定

\*上記にあてはまらない場合でも協議のうえ対応を検討することがある。

#### (3)利用日時・時間

火曜日から土曜日の午前10時～午後3時

#### (4)基本理念

1日の活動を安全に楽しく充実したものになるように支援する。

#### (5)一日の過ごし方

##### ①活動及び日課

通園事業と同室で活動をしているため、活動内容・日課は通園事業の療育内容にほぼ準じる。

#### (6)活動実績など

表3-15 地域別

(単位:人)

| 区分    | 豊橋市 | 豊川市 | 田原市 | 新城市 | 計  |
|-------|-----|-----|-----|-----|----|
| 就学前   | 11  | 4   | 1   | 1   | 17 |
| 小学生   | 19  | 3   | 3   | 0   | 25 |
| 中学生   | 6   | 0   | 0   | 0   | 6  |
| 高校生   | 5   | 1   | 1   | 0   | 7  |
| 18歳以上 | 17  | 2   | 0   | 0   | 19 |
| H28計  | 58  | 10  | 5   | 1   | 74 |
| H27計  | 57  | 8   | 5   | 1   | 71 |
| H26計  | 51  | 7   | 4   | 0   | 62 |
| H25計  | 49  | 6   | 4   | 0   | 59 |
| H24計  | 41  | 4   | 4   | 0   | 49 |

表3-16 年齢別・男女別

(単位:人)

| 区分    | 男  | 女  | H28計 | H27計 | H26計 | H25計 | H24計 |
|-------|----|----|------|------|------|------|------|
| 3歳児未満 | 3  | 5  | 8    | 8    | 4    | 4    | 0    |
| 3歳児   | 0  | 3  | 3    | 4    | 3    | 2    | 3    |
| 4歳児   | 0  | 3  | 3    | 3    | 1    | 3    | 2    |
| 5歳児   | 2  | 1  | 3    | 1    | 4    | 2    | 3    |
| 小学生   | 15 | 9  | 24   | 24   | 24   | 21   | 17   |
| 中学生   | 6  | 1  | 7    | 7    | 5    | 8    | 7    |
| 高校生   | 4  | 3  | 7    | 7    | 8    | 7    | 6    |
| 18歳以上 | 11 | 8  | 19   | 17   | 13   | 12   | 11   |
| H28計  | 41 | 33 | 74   |      |      |      |      |
| H27計  | 40 | 31 |      | 71   |      |      |      |
| H26計  | 38 | 24 |      |      | 62   |      |      |
| H25計  | 37 | 22 |      |      |      | 59   |      |
| H24計  | 32 | 17 |      |      |      |      | 49   |

表3-17 医療的ケア

(単位:人)

| 区分    | なし | 人工呼吸器 | 吸引 | 経管栄養(経鼻) | 経管栄養(胃ろう) | 気管切開 | 導尿 | 酸素療法 | 経鼻エアウェイ | 膀胱ろう |
|-------|----|-------|----|----------|-----------|------|----|------|---------|------|
| 就学前   | 8  | 4     | 8  | 4        | 4         | 6    | 1  | 1    | 0       | 0    |
| 小学生   | 9  | 1     | 12 | 2        | 9         | 6    | 1  | 1    | 3       | 0    |
| 中学生   | 1  | 1     | 5  | 0        | 5         | 3    | 2  | 0    | 1       | 0    |
| 高校生   | 2  | 0     | 3  | 1        | 4         | 0    | 0  | 0    | 0       | 0    |
| 18歳以上 | 8  | 0     | 7  | 1        | 6         | 0    | 3  | 1    | 1       | 1    |
| H28計  | 28 | 6     | 35 | 8        | 28        | 15   | 7  | 3    | 5       | 1    |
| H27計  | 27 | 5     | 33 | 5        | 28        | 11   | 6  | 4    | 5       | 1    |
| H26計  | 23 | 4     | 26 | 5        | 23        | 7    | 5  | 3    | 5       | 1    |
| H25計  | 22 | 3     | 21 | 7        | 21        | 4    | 4  | 3    | 4       | 1    |
| H24計  | 16 | 2     | 20 | 10       | 17        | 3    | 4  | 3    | 4       | 1    |

・重複ケアあり

表3-18 食事形態

(単位:人)

| 区分    | 経管<br>栄養 | 経口摂取 |     |     |      |    |     | 経口経管<br>の両方 |
|-------|----------|------|-----|-----|------|----|-----|-------------|
|       |          | 初期食  | 中期食 | 後期食 | キザミ食 | 常食 | ミルク |             |
| 就学前   | 8        | 1    | 0   | 1   | 5    | 2  | 0   | 0           |
| 小学生   | 11       | 3    | 2   | 1   | 4    | 3  | 0   | 0           |
| 中学生   | 5        | 0    | 0   | 0   | 0    | 2  | 0   | 0           |
| 高校生   | 3        | 3    | 0   | 1   | 0    | 0  | 0   | 2           |
| 18歳以上 | 4        | 3    | 4   | 2   | 3    | 3  | 0   | 3           |
| H28計  | 31       | 10   | 6   | 5   | 12   | 10 | 0   | 5           |
| H27計  | 33       | 9    | 6   | 5   | 11   | 10 | 1   | 4           |
| H26計  | 27       | 11   | 6   | 4   | 9    | 9  | 1   | 6           |
| H25計  | 27       | 14   | 8   | 1   | 8    | 8  | 0   | 9           |
| H24計  | 24       | 16   | 4   | 0   | 8    | 4  | 0   | 7           |

表3-19 運動機能(座上座位保持)(単位:人)

| 区分    | 不可能 | 可能 | 計  |
|-------|-----|----|----|
| 就学前   | 15  | 3  | 18 |
| 小学生   | 21  | 2  | 23 |
| 中学生   | 6   | 1  | 7  |
| 高校生   | 7   | 0  | 7  |
| 18歳以上 | 15  | 4  | 19 |
| H28計  | 64  | 10 | 74 |
| H27計  | 60  | 11 | 71 |
| H26計  | 54  | 8  | 62 |
| H25計  | 52  | 7  | 59 |
| H24計  | 42  | 7  | 49 |

表3-20 身障者手帳・療育手帳

(単位:人)

| 区分    | 1級A判定 | 1級C判定 | 2級A判定 | 1級のみ | 計  |
|-------|-------|-------|-------|------|----|
| 就学前   | 17    | 0     | 0     | 0    | 17 |
| 小学生   | 24    | 0     | 0     | 1    | 25 |
| 中学生   | 5     | 1     | 0     | 0    | 6  |
| 高校生   | 7     | 0     | 0     | 0    | 7  |
| 18歳以上 | 17    | 0     | 2     | 0    | 19 |
| H28計  | 70    | 1     | 2     | 1    | 74 |
| H27計  | 67    | 1     | 2     | 1    | 71 |
| H26計  | 58    | 1     | 2     | 1    | 62 |
| H25計  | 55    | 1     | 2     | 1    | 59 |
| H24計  | 46    | 1     | 2     | 0    | 49 |

表3-21 年間行事

| 月       | 日(曜日)       | 内 容   |
|---------|-------------|---|
| 4       | 7(木)        | 入園式・療育始め  |
|         | 12(火)・19(火) | 家庭訪問  |
|         | 22(金)       |   |
|         | 27(水)       | 療育参観  |
| 5       | 10(火)・18(水) | 個別懇談  |
|         | 20(金)       | 招待行事(豊橋総合動植物公園)                                 |
| 6       | 1(水)        | ゆり組講座 担当—理学療法士<br>「楽しく効果的なりハビリにする為に知っておいてほしいこと」 |
|         | 24(金)       | 療育参観・家庭訪問療育利用児との交流                              |
| 7       | 1(金)        | 園外保育(視聴覚教育センター)                                 |
|         | 6(水)        | 七夕会   |
|         | 20(水)       | プール開き   |
| 8       | 2(火)~4(木)   | プール参観   |
|         | 9(火)~13(土)  | 夏休み   |
| 9       | 16(金)       | ゆり組講座 担当—臨床心理士<br>「自分・子育て・家族」                   |
| 10      | 8(土)        | 運動会   |
|         | 13(木)       | 交流保育(長栄保育園)                                     |
|         | 19(水)・25(火) | 個別懇談  |
|         | 26(水)       |   |
| 11      | 30(水)       | 療育参観  |
| 12      | 7(水)        | クリスマスの集い  |
|         | 21(水)       | クリスマス会  |
|         | 24(土)~      | 冬休み   |
| 1       | ~5(木)       | 冬休み   |
|         | 27(金)       | ゆり組講座 担当—主任保育士<br>「こころとからだのメンテナンス」              |
| 2       | 3(金)        | 豆まき会  |
|         | 23(木)       | 平成29年度入園説明会・健康診断                                |
| 3       | 1(水)        | ひなまつり会  |
|         | 10(金)       | お別れ遠足   |
|         | 17(金)       | お別れ会  |
|         | 25(土)~      | 春休み   |
| 毎月1回    |             | 身体測定・避難訓練(火災・地震・不審者侵入)                          |
| 誕生児がいる月 |             | 誕生会   |

## 【通園事業部門の総括】

### 外来グループ療育事業

外来グループ療育事業(親子通園、以下「つつじ教室」)の定員は、午前3クラス90名、午後1クラス30名で今年度4月当初から定員の120名でスタートした。クラス編成としては、母親と一緒に集団での経験をしながら、子の成長や課題を保護者が確認、意識することを目的に、午前3グループの内1クラスは保育園、幼稚園に籍を置く併用児が多いクラスとし、子の成長や課題を保護者が確認、意識できるようなクラス編成とした。

併用児への支援や卒園児へのアフターフォローとして、つつじ教室の担任保育士がそれぞれ在籍している園を訪問したり、つつじ教室見学研修時を利用して担任が個別で相談を受ける等した。保育現場での悩み等を担任保育士が共有しながら、支援方法を一緒に考えていくことでの連携を図ることができた。また次年度に入園予定をしている園の職員が子の様子の把握ということを目的に訪問することもあり、入園前からの連携をとることも可能になっている。

つつじ教室への入園の経緯としてはこども保健課での健診、事後教室後の紹介が多いが、幼稚園、保育園からの紹介のケースも増えつつある。

教室では、親子関係の土台作りをしながらその子の特性に応じた関わり方や育ちに対する意識がつくように一人ひとりに合った個別支援をおこなった。また、保護者が見通しを立てやすく、子の姿の変化に気づき、通園することや子育て全般が楽しみや励みになるように、それぞれの保護者や家庭環境に合った働きかけを心がけた。

年度途中で120名を超えたが、入園希望の親子に対しては待機クラス「たんぽぽ組」を設け、入園を希望する保護者に対して相談や遊びの提供を行い、子育てに前向きになるような支援を心がけてクラス運営を行った。教室終了後の進路については保護者の希望と子どもの育ちの状態を共通理解しながら適切な方向性を図るよう働きかけていきたいと考えている。

今後、子どもに対する支援はもとより、育児不安や子どもを取り巻く家庭環境や社会情勢の変化など様々な問題を抱える保護者の負担が少しでも軽減され自信を持って子育てしていけるような親支援の更なる充実を図っていきたい。

### 重症心身障害児通園事業(児童発達支援)、重症心身障害児(者)日中一時支援事業

重症心身障害児通園事業は、通園児は4名があった。

保育士、看護師、理学療法士が保護者の希望をもとにリハビリ担当者の意見も取り入れ個別支援計画を作成し、その療育状況について、随時ケース検討会議を開き確認した。また、今年度は、生活環境を把握することで、よりきめ細やかなサービスを提供できるように、新たに家庭訪問を始めた。

人工呼吸器を使用しているなどの理由で外出が困難な児を対象に、平成26年度より試験的に家庭訪問療育を開始し、今年度も継続した。他機関から新たな対象児を紹介されるなど、徐々に認知度も上がってきている。今後も通園事業と併せて家庭訪問療育を需要がある限り実施していきたい。

重症心身障害児(者)日中一時支援事業については、登録者数は増加傾向にあるが、医療的ケアの制限が無いこと、多職種が専門性を持って対応出来ることなどが、登録して頂ける理由だろう。今年度は、他の母子通園施設に通っている児が母のレスパイトとして日中一時支援事業を利用するケースが増えている。

今後も引き続き、信頼される施設であるよう、努めていきたいと考えている。

### Ⅲ 資料編

#### 1 会議等

##### (1) センター内部

- ・全体会議：こども発達センターの全ての職種の代表者で構成し、専門委員会にて審議した内容の決定や、施設の運営全般に係る案件についての方向性を定める(センターの管理・運営、事業の企画・運営、実施する業務全般)。
- ・専門委員会：全体会議の下部組織として、多職種で構成する専門委員会を置いている(安全管理、重症心身障害児通園・日中一時支援、学術・広報、療育等支援、電子カルテ等システム)。

##### (2) センター外部 (委嘱・依頼等に基づき参加)

- ・豊橋市障害者自立支援協議会  
障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律(H17法律第123号)に基づく協議会、福祉・保健・教育・雇用・医療等の関係機関によるネットワーク構築等の協議を行う。  
\*こども専門部会(こどもの支援に関する事項)  
療育関係者連絡会議  
放課後等デイサービス連絡会  
事例検討会
- ・豊橋市地域保健推進協議会母子保健部会  
母子保健の向上および事業の推進に関すること等を協議する。
- ・豊橋市子ども・若者支援地域協議会  
社会生活を円滑に営む上での困難を有する若者を包括的に支援する。
- ・豊橋市要保護児童対策ネットワーク協議会  
要保護児童の適切な保護又は要支援児童若しくは特定妊婦への適切な支援を図る。
- ・豊橋市立小中学校就学支援委員会  
障害のある児童生徒の就学、入級指導の適正を期する。
- ・豊橋市不登校対策推進協議会  
不登校児童生徒への支援や条件整備、不登校の予防的施策等を含め、幼児期から青年期までの子どもの健やかな成長について協議する。
- ・子ども相談連絡会  
乳幼児をもつ家庭の相談・支援に携わる機関同士の横のつながりと連携を図る。
- ・豊橋市特別支援連携協議会  
障害のある子どもやその保護者への相談・支援にかかわる関係団体・機関等の円滑な連携協力を図る。
- ・豊橋市いじめ問題対策連絡協議会  
学識経験者、学校代表、保護者代表、警察、心理・医療の専門家、弁護士、相談機関・関係行政機関の代表で構成される協議会において、いじめ防止等に関し連携を図る。
- ・豊橋市民病院小児科研修管理委員会  
豊橋市民病院における小児科専攻医としての臨床研修に関する事項を所掌するための委員会

## 2 条例等抜粋

### (1) 豊橋市こども発達センター条例 (平成21年条例第41号)

第1条(趣旨) 設置及び管理について必要な事項を定める。

第2条(設置) 心身に障害のある児童及びその疑いのある児童(以下「児童」という。)の地域における療育体制の充実及び福祉の向上を図るため、こども発達センターを次の場所に置く。

2 こども発達センターには、診療所を置く。

第3条(事業) 児童に関する相談及び指導。児童に対する検査、判定及び評価。児童に対する診断及び治療。児童に対する療育及び訓練。その他市長が必要と認める事業

第4条(診療科目) 小児科、児童精神科、整形外科、耳鼻いんこう科及び歯科とする。

第5条(使用者) 児童及びその保護者。その他市長が児童の福祉の向上のために適当と認めた者。

第6条(使用料等) 診療所を使用する者は、使用料又は手数料を納付しなければならない。

・使用料の額:健康保険法の規定により厚生労働大臣が定める算定方法によって算定した額。

・診断書又は証明書の交付に係る手数料の額:1通につき3,240円の範囲内で別に定める額。

2 特別の材料その他特に費用を要したときは、別にその費用を徴収する。

第7条(使用料等の減免等) 特別の事由があると認めるとき:減免、又は徴収猶予。

第8条(損害賠償) 使用する者がその施設、設備等を損傷し、又は滅失したとき。

第9条(委任)

附 則

### (2) 豊橋市こども発達センター条例施行規則 (平成22年規則第4号)

第1条(趣旨)

第2条(開館時間) 開館時間は、午前8時30分から午後5時15分までとする。

第3条(休館日) 日曜日及び月曜日。国民の祝日に関する法律に規定する休日。12月29日から翌年の1月3日までの日。市長が特に必要があると認めた日。

2 休館日において診療等の必要があると認めるときは、別に開館日を定めることができる。

第4条(診療の範囲) こども発達センターの診療は、外来のみとする。

第5条(診療の申込み) 診療を受けようとする者は、診療の申込みをしなければならない。

第6条(手数料) 条例第6条第1項第2号に規定する手数料の額は、別表のとおりとする。

第7条(使用料等の減免等) 使用料等減免・徴収猶予申請書

第8条(委任)

附 則 この規則は、平成22年4月1日から施行する。

別表(第6条関係)

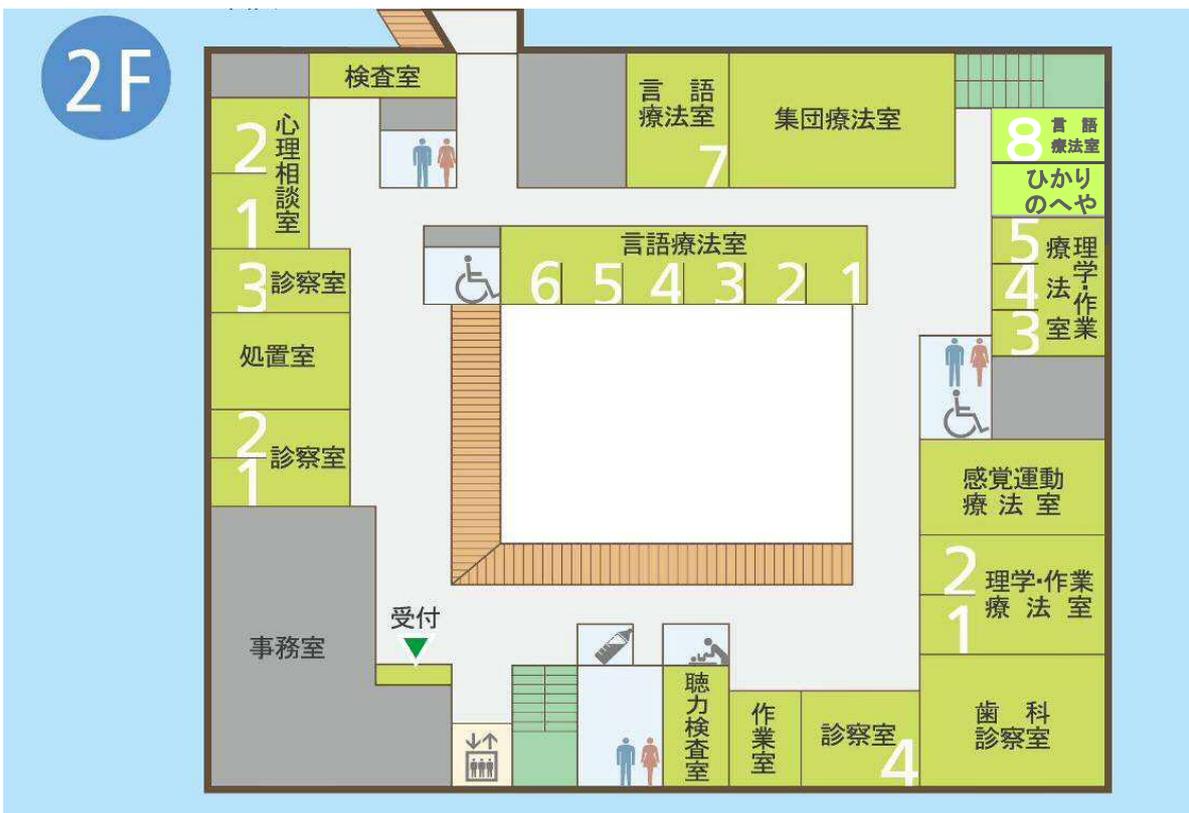
| 区分               | 単位 | 手数料    |
|------------------|----|--------|
| 普通診断書その他これに類するもの | 1通 | 1,620円 |
| 精密診断書その他これに類するもの | 1通 | 3,240円 |
| 領収証明書その他これに類するもの | 1通 | 1,080円 |

### 3 建物の平面図・案内図

(1階平面図)



(2階平面図)



(敷地全体図)



(交通案内図)



こども発達センター年報(平成28年度版)

---

豊橋市こども発達センター

〒441-8539 豊橋市中野町字中原100番地

電話 : 0532-39-9200 FAX : 0532-47-0911

E-mail : hattatsu-center@city.toyohashi.lg.jp

ホームページ : <http://www.hattatsu-center.jp/>